

平成 3 年度水稻作関係

除草剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

平成 3 年度水稻作関係除草剤試験成績中央検討会は、平成 3 年 12 月 12～13 日の 2 日間、植調会館会議室において開催された。なお、適 1 試験は中央検討会に先がけ、平成 3 年 10 月 4 日植調会館にて開催された。これらの成果の概要を報告する。

1) 第 1 次適用性試験 (適 1) 成績について

平成 3 年度の適 1 試験は、北海道地域 (植調北海道試験地)、東北地域 (植調古川試験地)、北陸地域 (植調新潟第 1 試験地)、関東地域 (植調研究所)、近畿地域 (植調滋賀試験地)、中国地域 (植調広島試験地)、九州地域 (植調佐賀試験地) の全国 7 地域で 76 薬剤 (のべ 366 点) について実施した。その判定結果は、第 1 表のとおりである。

2) 第 2 次適用性試験 (適 2) 成績について

平成 3 年度の適 2 試験は、次のような試験区

分で実施した。すなわち、稚苗移植栽培の移植前土壌混和处理 (Ⅱ-1, 6 剤 74 点)、移植前後土壌処理 (Ⅱ-2, 8 剤 115 点)、移植後土壌処理 (Ⅱ-3, 10 剤 92 点)、茎葉兼土壌処理 (Ⅱ-4, 1 剤 12 点)、適用時期拡大 (Ⅱ-5, 6 剤 57 点)、特殊雑草防除 (Ⅱ-6, のべ 80 剤 237 点)、湛水直播栽培用 (Ⅲ-1, 6 剤 48 点)、乾田直播栽培用 (Ⅲ-2, 5 剤 17 点)、畦畔雑草用 (Ⅳ, 8 剤 35 点)、耕起前雑草用 (Ⅴ, 3 剤 9 点)、初期一発処理剤 (Ⅶ-1, 41 剤 420 点)、初・中期一発処理剤 (Ⅶ-2, 19 剤 272 点)、長期持続型一発処理剤 (Ⅶ-3-1), 10 剤 71 点)、一年生持続型除草剤 (Ⅶ-3-2), 3 剤 34 点)、少量散布 (Ⅷ, 9 剤 49 点) の総のべ点数が 1,542 点であった。これら適 2 試験の判定結果は第 2 表、使用基準は第 3 表のとおりである。

第 1 表 平成 3 年度水稻作関係除草剤適 1 試験成績判定結果一覧表

No	薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および 含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中央判定結果 〔今後の課題点等〕
			北海道	東北	北陸	関東	近畿	中国	九州	
1	AKD-7026-1kg 粒 〔アグロカネショウ〕	KH-218 6 ペンシルフロンメチル 0.75 ACN 9	○	□						寒地・寒冷地北部□、ノビエ 1.5L まで (初期一発処理剤) 〔多年生雑草に対する効果確認〕

No	薬 剤 名 ・ 剤 型 〔 委 託 者 名 〕	有効成分および 含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中 央 判 定 結 果 〔 今 後 の 課 題 点 等 〕
			北 海 道	東 北	北 陸	関 東	近 畿	中 国	九 州	
2	CG-187 粒 〔 日本チバガイギー 〕	シノスルフロン 0.08 未公開（既知） 7 プレチラクロール 1.5		○	○	□	○			寒冷地・温暖地□, ノビエ2Lまで（一年生雑草, マツバイ, ホタルイ） 〔 一年生持続型除草剤としての効果の持続性 〕
3	CH-902-1kg 粒 〔 中外製薬 〕	CH-900 1.9 未公開既知 9	□	○	○	□				寒地～温暖地東部□, ノビエ1.5Lまで（一年生雑草, マツバイ, ホタルイ） 〔 広葉雑草に対する効果, 薬害の検討（寒地） 〕
4	DEH-112 粒 〔 ダウエランコ 〕	未公開 0.6	○	△	○	□		○		寒地～温暖地□, ノビエ3.5Lまで（ノビエ） 〔 混合母剤としての検討 〕
5	DEH-112-1kg 粒 〔 ダウエランコ 〕	未公開 1.8	○		○	□		□		寒地～温暖地□, ノビエ2～3Lまで（ノビエ） 〔 混合母剤としての検討, 効果確認 〕
6	DEH-112 乳 〔 ダウエランコ 〕	未公開 30	□	△	○	□		□		寒地～温暖地□, ノビエ3.5Lまで（ノビエ） 〔 混合母剤としての検討, 薬量・効果の確認 〕
7	DJL-911 粒 〔 デュポン・ジャパン 〕	未公開	□	○	○	○	○	○	○	全域□, ホタルイ2Lまで（一年生広葉雑草, マツバイ, ホタルイ, ウリカワ, ミズガヤツリ） 〔 混合母剤としての検討, 多年生雑草に対する効果確認（寒地・寒冷地北部） 〕
8	DJL-912 粒 〔 デュポン・ジャパン 〕	未公開	□	○	○	○	○	○	○	全域□, ホタルイ2Lまで（一年生広葉雑草, マツバイ, ホタルイ, ウリカワ, ミズガヤツリ） 〔 混合母剤としての検討, 多年生雑草に対する効果確認（寒地・寒冷地北部） 〕
9	DJL-915 粒 〔 デュポン・ジャパン 〕	未公開	□	○	○	○	○	□	○	全域□, ホタルイ2Lまで（一年生広葉雑草, マツバイ, ホタルイ, ウリカワ, ミズガヤツリ） 〔 混合母剤としての検討, 多年生雑草に対する効果確認（寒地・寒冷地北部） 〕
10	HOK-911 乳 〔 北興化学 〕	未公開 18	○	○	○	○	○	◎	○	全域□, 植代時（一年生雑草, マツバイ, ホタルイ） 〔 効果の持続性 〕

No.	薬 剤 名 ・ 剤 型 〔 委 託 者 名 〕	有効成分および 含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中 央 判 定 結 果 〔 今 後 の 課 題 点 等 〕
			北 海 道	東 北	北 陸	関 東	近 畿	中 国	九 州	
11	HOK-912 フロアブル 〔 北興化学 〕	未公開 3.4	○	○	○	○	○	○	□	全域○, ノビエ2 Lまで(初期一 発処理剤)
12	HOK-913 乳 〔 北興化学 〕	未公開 5 未公開 15	○	□ △	○	○	○	◎	○	全域□, 植代時(一年生雑草, マ ツバイ, ホタルイ)
13	HOK-915 粒 〔 北興化学 〕	未公開 6.55	○	○						寒地・寒冷地北部○, ノビエ2 L まで(初期一発処理剤)
14	HOK-915① 粒 〔 北興化学 〕	未公開 6.37			○	○	◎	○	□	寒冷地南部以西○, ノビエ2 Lま で(初期一発処理剤)
15	JMH-13 粒 〔 保土谷化学 〕	未公開 13	○	□	□	◎	○	○	□	全域□, ノビエ1.5 Lまで(初期 一発処理剤) 〔 広葉雑草に対する効果向上 〕
16	KPP-2006フロアブル 〔 科研製薬 〕	新 規 4.5 既 知 12	□	△	◎	○	○	◎	□	全域□, 雑草発生前(一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ウリカワ, ミズガヤツリ) 〔 薬害の検討, 多年生雑草に対す る効果確認 〕
17	KPP-2007フロアブル 〔 科研製薬 〕	新 規 4.5 既 知 10 既 知 10	□	△	◎	○	○	◎	○	全域□, 雑草発生前(一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ウリカワ, ミズガヤツリ) 〔 薬害の検討, 多年生雑草に対す る効果確認 〕
18	MTS-1(A)フロアブル 〔 エス・ディー・エス, 三井東圧 〕	CNP 18 ダイムロン 14	□	○				○	○	全域○, 雑草発生始まで(一年生 雑草, マツバイ, ホタルイ)
19	MTS-1(B)フロアブル 〔 エス・ディー・エス, 三井東圧 〕	CNP 18 ダイムロン 14	○	○				○	○	全域○, 雑草発生始まで(一年生 雑草, マツバイ, ホタルイ)
20	MY-911① 粒 〔 三菱油化 〕	未公開(3種) 6.75	○	○		○				寒地・寒冷地北部○, ノビエ2.5 Lまで(初・中期一発処理剤)
21	MY-911 粒 〔 三菱油化 〕	未公開(3種) 6.67	□	□	○	○	□	○	□	全域□, ノビエ2.5 Lまで(初・ 中期一発処理剤) 〔 薬害の検討(近畿) 〕
22	MY-913 フロアブル 〔 三菱油化 〕	未公開(3種) 21.25	○	△	○	○	○	○	○	全域□, 雑草発生前(一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ウリカワ, ミズガヤツリ) 〔 多年生雑草に対する効果確認・ 薬害の検討 〕

No	薬 剤 名 ・ 剤 型 〔 委 託 者 名 〕	有効成分および 含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中 央 判 定 結 果 〔 今 後 の 課 題 点 等 〕
			北 海 道	東 北	北 陸	関 東	近 畿	中 国	九 州	
23	NC-311DK 粒 〔 日産化学 〕	ピラゾスルフロンエチル 0.07 KPP-314 1.5 未公開		△ 〇 □		〇		□	□	△～□ 〔 薬害の検討 〕
24	NC-326㊤ 粒 〔 日産化学, 日本モンサ ント, アイ・シー・ア イ 〕	ピラゾスルフロンエチル 0.07 エスプロカルブ 7 ジチオピル 0.2				〇	□	□	〇	温暖地・暖地□, ノビエ2.5 Lま で〔 初・中期一発処理剤 〕 〔 薬害の検討 〕
25	NC-329 粒 〔 日産化学, 日本チバガ イギー 〕	ピラゾスルフロンエチル 0.07 エスプロカルブ 5 プレチラクロール 1.5 ジメタメトリン 0.2	〇	◎	◎	◎	□	□	□	寒地～温暖地西部◎, ノビエ2.5 Lまで〔 初・中期一発処理剤 〕 温暖地西部以西□, 〔 薬害の検討 〕
26	NC-329-1kg 粒 〔 日産化学, 日本チバガ イギー 〕	ピラゾスルフロンエチル 0.3 エスプロカルブ 15 プレチラクロール 4.5 ジメタメトリン 0.6	〇	〇	◎	◎	◎	〇	□	寒地・寒冷地◎, 温暖地〇, ノビ エ2.5 Lまで〔 初・中期一発処理 剤 〕 暖地□, 〔 薬害の検討 〕
27	NC-332 フロアブル 〔 日産化学 〕	未公開 5.8	〇	□	◎	〇	□	〇	◎	全域□, ノビエ2 Lまで〔 初期一 発処理剤 〕 〔 薬害の検討 〕
28	NC-333-1kg 粒 〔 日産化学 〕	未公開 1.5		□		〇		〇	□	全域□, ノビエ2 Lまで〔 初期一 発処理剤 〕 〔 効果, 薬害の検討 〕
29	NCH-903 粒 〔 日産化学, 中外製薬 〕	ピラゾスルフロンエチル 0.07 CH-900 1	□	〇	◎	〇	□	〇	□	全域□, ノビエ2.5 Lまで〔 初・ 中期一発処理剤 〕 〔 薬害の検討 〕
30	NCH-903-1kg 粒 〔 日産化学, 中外製薬 〕	ピラゾスルフロンエチル 0.3 CH-900 3	□	〇	◎	〇	□	〇	□	全域□, ノビエ2.5 Lまで〔 初・ 中期一発処理剤 〕 〔 薬害の検討 〕
31	NH-9107 粒 〔 日本農薬 〕	既 知 (3 種) 7.55	〇	〇						寒地・寒冷地北部□, ノビエ2.5 Lまで〔 長期持続型一発処理剤 〕 〔 残効性の検討, 初・中期一発処 理剤としては〇 〕
32	NH-9108 粒 〔 日本農薬 〕	既 知 (3 種) 7.47			〇	〇	◎		〇	寒冷地南部以西□, ノビエ2.5 L まで〔 長期持続型一発処理剤 〕 〔 残効性の検討, 初・中期一発処 理剤としては〇 〕

No.	薬 剤 名 ・ 剤 型 〔 委 託 者 名 〕	有効成分および 含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中 央 判 定 結 果 〔 今 後 の 課 題 点 等 〕
			北 海 道	東 北	北 陸	関 東	近 畿	中 国	九 州	
33	NH-9109 粒 〔 日本農薬 〕	既 知 (3 種) 5.37			○	○	◎		□	寒冷地南部以西□, ノビエ 2.5 L まで (長期持続型一発処理剤) 〔 残効性の検討, 初・中期一発処 理剤としては○ 〕
34	NSK-855 フロアブル 〔 徳山曹達 〕	未公開 6.5	△	△						寒地・寒冷地北部△ 〔 効果, 薬害の検討 〕
35	NSK-855 ㊟フロアブル 〔 徳山曹達 〕	未公開 6.2	△	○						寒冷地北部○, ノビエ 2 L まで (初期一発処理剤) 寒地△, 〔 効果の検討 〕
36	NSK-855 ㊟フロアブル 〔 徳山曹達 〕	未公開 6			○	○	○	◎	○	寒冷地南部以西○, ノビエ 2 L ま で (初期一発処理剤)
37	SW-911 袋 〔 三 共 〕	ピラゾレート + A + B	○	□	□	○	○	◎	□	全域□, ノビエ 1 L まで (一年生 雑草, マツバイ, ホタルイ, ウリ カワ, ミズガヤツリ) 〔 実用試験規模での検討 〕
38	SW-914 袋 〔 三 共 〕	未公開 合計 32.7	□	□	□	○	○	○	○	全域□, ノビエ 1.5 L まで (一年 生雑草, マツバイ, ホタルイ, ウ リカワ, ミズガヤツリ) 〔 実用試験規模での検討 〕
39	SW-912-1 kg 粒 〔 三 共 〕	未公開 4.5 既 知 12 既 知 12	○	□	□	◎	○	◎	○	全域□, ノビエ 1 L まで (一年生 雑草, マツバイ, ホタルイ, ウリ カワ, ミズガヤツリ) 〔 効果, 薬害の検討 〕
40	SW-913 粒 〔 三 共 〕	未公開 (5 種) 8.7	○	○	◎	◎	△	□	□	寒地～温暖地東部○, ノビエ 2 L まで (初期一発処理剤) 温暖地西部以西□, 〔 薬害の検討 〕
41	TDH-888 ㊟フロアブル 〔 東ソー 〕	未公開 13.5	○	□ △						寒地・寒冷地北部□, ノビエ 2 L まで (初期一発処理剤) 〔 薬害の検討 〕
42	TDH-888 フロアブル 〔 東ソー 〕	未公開 13.3	□	△	○	○	○	○	○	全域□, ノビエ 2 L まで (初期一 発処理剤) 〔 効果・薬害の検討 〕
43	TDH-888 ㊟フロアブル 〔 東ソー 〕	未公開 13			○	○	○	○	○	寒冷地南部以西○, ノビエ 2 L ま で (初期一発処理剤)
44	TH-913ADS 粒 〔 武田薬品, チバガイギ ー, エスディーエス 〕	TH-913 0.3 ソルネット 2 ダイムロン 5 ジメタメトリン 0.15	○	○	◎					寒地・寒冷地○, ノビエ 2 L まで (初期一発処理剤)

No	薬 剤 名 ・ 剤 型 〔 委 託 者 名 〕	有効成分および 含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中 央 判 定 結 果 〔 今 後 の 課 題 点 等 〕
			北 海 道	東 北	北 陸	関 東	近 畿	中 国	九 州	
45	TH-913ADS① 粒 〔 武田薬品, チバガイギー, エスディーエス 〕	TH-913 0.3 ソルネット 1.5 ダイムロン 5 ジメタメトリン 0.2	○	○	◎	◎	○	◎	○	全域○, ノビエ2Lまで(初期一発処理剤)
46	TH-913ADSC 粒 〔 武田薬品, チバガイギー, エスディーエス 〕	TH-913 0.3 エスプロカルブ 7 ソルネット 1.5 ジメタメトリン 0.2	○	○	○ ∪ ◎	◎	△	□	○	温暖地東部以北○, ノビエ2.5Lまで(初・中期一発処理剤) 温暖地西部以西□, (薬害の検討)
47	TH-913HW 粒 〔 武田薬品, 保土谷化学 〕	TH-913 0.3 HW-52 5	○	□	○ ∪ ◎	○	○	○	◎	全域□, ノビエ2Lまで(初期一発処理剤) 〔 効果の確認 〕
48	TH-913HSK 粒 〔 武田薬品, 保土谷化学 〕	TH-913 0.3 HW-52 5 ダイムロン 5	○	○	○ ∪ ◎	○	○	◎	○	全域○, ノビエ2Lまで(初期一発処理剤)
49	TH-913SSC 粒 〔 武田薬品, エスディーエス 〕	TH-913 0.3 エスプロカルブ 7 ダイムロン 5	○	○	◎	◎	○	◎	○	全域○, ノビエ2.5Lまで(初・中期一発処理剤)
50	TH-913ST フロアブル 〔 武田薬品, 東ソー, エスディーエス 〕	TH-913 1.7 ピリブチカルブ 12 ダイムロン 27.5	□	□	○	○	○	◎	◎	全域□, ノビエ1.5Lまで(初期一発処理剤) 〔 ノビエに対する効果の持続性 〕
51	TJM-162 フロアブル 〔 東ソー, 三菱油化, 日本カーリット 〕	ピリブチカルブ 10 JC-940 16 クロメプロップ 2	○	□	□	○	○	○	□	全域□, ノビエ1.5Lまで(一年生雑草, マツバイ, ホタルイ) 〔 効果の検討 〕
52	TSR-121 フロアブル 〔 東ソー 〕	ピリブチカルブ 10 プロモブチド 12 ビフェノックス 1	□	□	□	○	○	○	□	全域□, ノビエ1～1.5Lまで(一年生雑草, マツバイ, ホタルイ) 〔 効果の検討 〕
53	CG-113-1kg 粒 〔 日本チバガイギー 〕	プレチラクロール 4	○ ∪ □	○	○	○	□	○	□	全域○, 3kg剤の2kg/a処理と同等, ノビエ1Lまで(一年生雑草, マツバイ, ホタルイ)
54	DM-72-1kg 粒 〔 北興化学 〕	ジチオビル 1.2 ベンスルフロメチル 0.75	□	○						寒地・寒冷地北部□ 〔 製剤検討 〕
55	DM-72①-1kg 粒 〔 北興化学 〕	ジチオビル 1.2 ベンスルフロメチル 0.51			○	○	○	□	□	寒冷地南部以西○, 3kg剤と同等, ノビエ1.5Lまで(初期一発処理剤)
56	KH-255①-1kg 粒 〔 アグロカネショウ 〕	KH-218 6 ベンスルフロメチル 0.5			○	○	○	○	□	寒冷地南部以西○, 3kg剤と同等, ノビエ2Lまで(初期一発処理剤)

No.	薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および 含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中央判定結果 〔今後の課題点等〕
			北海道	東北	北陸	関東	近畿	中国	九州	
57	KPP-314-1kg 粒 〔科研製薬〕	新規 4.5		○		○			○	全域○, 3kg剤と同等, 雑草発生前(一年生雑草)
58	KPP-2005-1kg 粒 〔科研製薬〕	新規 4.5 既知 15		○		○			○	全域○, 3kg剤と同等, 雑草発生前(一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ミズガヤツリ)
59	MO-338-1kg 粒 〔三井東圧化学〕	CNP 27		○		○	□		○	全域○, 3kg剤と同等, ノビエ1Lまで(一年生雑草)
60	MTS-1-1kg 粒 〔エスディーエス, 三井東圧〕	CNP 27 ダイムロン 21		○		○		△	○	全域□ 〔3kg剤とほぼ同等だが一部効果の検討を要す〕
61	NC-311-1kg 粒 〔日産化学〕	ピラゾスルフロンエチル 0.3	△	○	○	○	□	○	◎	全域□, 3kg剤と同等 〔混合母剤としての検討〕
62	NC-311CG-1kg 粒 〔日産化学, 日本チバガイギー〕	ピラゾスルフロンエチル 0.3 プレチラクロール 6	□	○	○	○				寒地～温暖地東部○, 3kg剤と同等, ノビエ2Lまで(初期一発処理剤)
63	NC-311CG④-1kg 粒 〔日産化学, 日本チバガイギー〕	ピラゾスルフロンエチル 0.3 プレチラクロール 4.5					○	○		温暖地西部○, 3kg剤と同等, ノビエ2Lまで(初期一発処理剤)
64	NC-311HW-1kg 粒 〔保土谷化学, 日産化学〕	ピラゾスルフロンエチル 0.3 HW-52 15	○	△	○	○	○	○	◎	寒地～温暖地東部□, (効果の確認) 温暖地西部以西○, ノビエ2Lまで(初期一発処理剤)
65	NC-311SC④-1kg 粒 〔日産化学〕	ピラゾスルフロンエチル 0.3 エスプロカルブ 21	○	△	◎	○	□	○	◎	全域□, ノビエ2.5Lまで(初・中期一発処理剤) 〔3kg剤とほぼ同等だが, 一部効果の検討を要す〕
66	NH-728-1kg 粒 〔日本農薬〕	ベンスルフロンメチル 0.75 エスプロカルブ 15 ジチオピル 0.9	□	○						寒地・寒冷地北部□, ノビエ2.5Lまで(長期持続型一発処理剤) 〔3kg剤とほぼ同等だが, 一部効果の検討を要す〕
67	NH-728④-1kg 粒 〔日本農薬〕	ベンスルフロンメチル 0.51 エスプロカルブ 15 ジチオピル 0.9			○		○		□	寒冷地南部以西□, ノビエ2.5Lまで(長期持続型一発処理剤) 〔3kg剤とほぼ同等だが, 一部効果の検討を要す〕
68	NSK-850D-1kg 粒 〔徳山曹達, デュボンジャパン〕	ベンスルフロンメチル 0.75 NSK-850 2.7	△	△						寒地, 寒冷地△ 〔製剤検討(薬害)〕

No	薬 剤 名 ・ 剤 型 〔 委 託 者 名 〕	有効成分および 含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中 央 判 定 結 果 〔 今 後 の 課 題 点 等 〕
			北 海 道	東 北	北 陸	関 東	近 畿	中 国	九 州	
69	NSK-850D①-1kg粒 〔 徳山曹達, デュポンジ ャパン 〕	ベンスルフロンメチル 0.5 NSK-850 2.7			○	○	△	○	△	寒冷地南部以西□ 〔 製剤検討 〕
70	SL-498-1kg 粒 〔 石原産業 〕	ピラゾキシフェン 18 プレチラクロール 4.5 シメトリン 1.5		○	□	○	◎	○	□	寒地を除く全域○, 3kg剤と同等, ノビエ2Lまで(初期一発処理剤)
71	モリネートSM-1kg 粒 〔 八洲化学 〕	モリネート 24 シメトリン 4.5 MCPB 2.4		○		○	○			○, 3kg剤と同等, ノビエ3.5L まで
72	DPX-84CG①-1kg粒 〔 ゴルゴ普及会 〕	ベンスルフロンメチル 0.51 プレチラクロール 6				○				○, 3kg剤と同等, ノビエ1.5L まで
73	DPX-84T-1kg 粒 〔 DPX-84T-1kg 研 〕	ベンスルフロンメチル 0.75 メフェナセット 10				○				○, 3kg剤と同等, ノビエ2.5L まで
74	DPX-84TD①-1kg粒 〔 DPX-84TD①-1kg 研 〕	ベンスルフロンメチル 0.5 メフェナセット 10 ダイムロン 4.5				○				○, 3kg剤と同等, ノビエ2.5L まで
75	KUH-883①-1kg 粒 〔 クミ化, 日本バイエル, デュポン 〕	ベンスルフロンメチル 0.5 ベンチオカーブ 15 メフェナセット 3				○				○, 3kg剤と同等, ノビエ2Lま で
76	NC-311T-1kg 粒 〔 アクト普及会 〕	ピラゾスルフロンエチル 0.3 メフェナセット 10				○				○, 3kg剤と同等, ノビエ2.5L まで

注) 上記判定欄の記号については, ◎; 極めて有望, ○; 有望, □; 可能性あり, △; 再検討, ×; 見込なし, を表わす。

第2表 平成3年度水稻作関係除草剤適2試験成績判定結果一覧表

区 分	判 定	実	実 ・ 継	継	継 ?	中止
II-1. 移植前土壌混和 処理			CG-113乳, TCG-128乳.	HOK-913乳, KPP-314乳, KPP-314フロアブル, KPP- 2005フロアブル.		
II-2. 移植前後土壌処 理			CG-113-1kg粒, MO-338 -1kg粒, MTS-1フロアブル, MTS-1-1kg粒.	KPP-314粒, KPP-314フロ アブル, KPP-2005粒, KPP -2005フロアブル		

区 分 判 定	実	実 ・ 継	継	継 ?	中止
II-3. 移植後土壌処理		KH-218粒, NC-311-1kg粒, <u>NSK-852粒</u> , <u>SL-652粒</u> , <u>TSJ-756粒</u> , (追加) JC-940粒.	SW-914袋, TJM-162フロアブル, TSR-121フロアブル, Y-873-1kg粒, Y-873T-1kg粒.		
II-4. 茎葉兼土壌処理		モリネートSM-1kg粒.			
II-5. 適用時期拡大		HOK-7505-1kg粒, NC-311粒, <u>NC-311NS粒</u> , <u>NS-177粒</u> , <u>TH-913⑩粒</u> , <u>モリネートSM-1kg粒</u> , (追加) BAS-3510Na④液, (追加) BAS-3510Na粒, (追加) DPX-84粒, (追加) DPX-84④粒.			
II-6-(1) クログワイ対象		DM-72粒, DPX-84SKH⑩粒, KH-255粒, NC-311SC④粒, NC-326粒, NC-329粒, NH-728粒, <u>SKH-8602④粒</u> , <u>TH-913⑩粒</u> . (但し, 連年施用については継続検討) DPX-84SC④粒, DPX-84TD④粒, JC-940粒, KUH-883粒, <u>KUH-883④粒</u> , NC-311CG粒, NC-311CG④粒, NC-311NS粒, NC-311R粒, NC-311T粒, NJM-754粒, <u>NS-177粒</u> , <u>TSJ-756粒</u> . (連年施用についても「実・継」) BAS-3510Na④液, DPX-84④粒, NS-112粒, (連年施用についても徹底防除に用いる剤として「実・継」)	(連年施用について継続検討) DM-72④粒, KH-255④粒, MY-911粒.		
II-6-(2) オモダカ対象		DM-72粒, <u>DPX-84SKH⑩粒</u> , <u>KH-255粒</u> , <u>KH-255④粒</u> , <u>NC-311SC④粒</u> , <u>NC-326粒</u> , <u>NC-329粒</u> , <u>NH-728粒</u> , <u>SKH-8602④粒</u> . (但し, 連年施用については継続検討) DPX-84④粒, DPX-84TD④粒, KUH-883粒, KUH-883④粒, NC-311粒, NC-311R粒, <u>NS-177粒</u> . (連年施用についても「実・継」)	DM-72④粒.		
II-6-(3) セリ対象		KUH-883④粒.			
II-6-(5) シズイ対象		DM-72粒, DPX-84SKH⑩粒, KH-255粒, <u>NC-311SC④粒</u> , <u>NC-326粒</u> , <u>NC-329粒</u> , <u>NS-177粒</u> , <u>SKH-8602④粒</u> .	JC-940粒.		
II-6-(6) エゾノサヤヌカグサ対象		DM-72粒, <u>DPX-84SKH⑩粒</u> , <u>KH-255粒</u> , <u>NC-311SC④粒</u> , <u>NC-326粒</u> , <u>NC-329粒</u> , <u>NS</u>			

判 定 区 分	実	実 ・ 継	継	継 ?	中止
II-6-(6) エゾノサヤ ヌカグサ対 象(つづき)		-177粒, SKH-8602①粒, SW-907⑩粒.			
II-6-(7) クサネム対 象		BAS-3510Na①液, DPX- -84粒, DPX-84T粒, KUH -883粒, NC-311CG粒, NC-311R粒, NC-311SC① 粒, NC-311T粒.	BAS-3510Na粒.		
II-6-(8) コウキヤガ ラ対象		DPX-84TD①粒, KUH-883 ①粒, NC-311R粒, NC-311 SC①粒. NC-311CG粒. (運用施用についても「実・継」)	JC-940粒, NC-311CG①粒.		
III-1. 湛水直播		DPX-84M粒, NC-311HW粒.	KUH-883①粒, NC-311SC ①粒, TH-913HSK粒, TH- 913HW粒.		
III-2. 乾田直播		KUH-883①粒, KUH-914乳, トリフルラリン粒.	KUH-911液, KUH-911Aフ ロアブル.		
IV 畦畔雑草		DCMUフロアブル, Hoe-86610 液, Hoe-866-3H水和, HSW -9106液, Mon-8794液, MW-851液, グリホサート水溶.	KUH-913液,		
V 耕起前雑草		BGX-816水溶, Mon-8794 液, MW-851液.			
VII-1. 初期一発処理剤		DM-72①粒, DPX-84CG粒, DPX-84CG-1kg粒, DPX- 84CG①粒, DPX-84CG①-1kg 粒, DPX-84M①粒 (HOK- 917D), DPX-84SKH⑩粒, KH-249①粒, KH-255粒, KH-255①粒, KUH-883粒, KUH-883-1kg粒, KUH- 883①粒, KUH-883①-1kg 粒, NC-311CG粒, NC-311 CG-1kg粒, NC-311CG①粒, NC-311CG①-1kg粒, NC- 311HW粒, NCM-72粒, NJM-754粒, NSK-850粒, NSK-850D①粒, SKH-8602 ①粒, SL-970フロアブル, SW-970粒, SW-907⑩粒, TSM-612フロアブル, DPX- 84M粒 (HOK-917C), (追 加) DM-72粒.	NSK-850D-1kg粒, NSK- 850D①-1kg粒, NSK-855 フロアブル, NSK-855⑩フロ アブル, NSK-855①フロアブ ル, TDH-888⑩フロアブル, TDH-888フロアブル, TDH- 888①フロアブル, TH-913 ADS粒, TH-913ADS①粒, TH-913STフロアブル.		
VII-2. 初・中期一発処 理剤		DPX-84T-1kg粒, DPX-84 TD①-1kg粒, DPX-84SC粒, NC-311R粒, NC-311SC① 粒, NC-311SC①-1kg粒, NC -311T粒, NC-311T-1kg粒, NC-326粒, NC-326①粒, NC-329粒, (追加) DPX-84 SC①粒, (追加) DPX-84T粒, (追加) DPX-84TD①粒.	DJL-367粒, MY-910粒, MY-911⑩粒, MY-911粒, NC-329-1kg粒, NCH-903 -1kg粒, TH-913ADSC粒, TH-913SSC粒.		

区 分	判 定	実	実 ・ 継	継	継 ?	中止
VII-3-(1)	長期持続型 一発処理剤		DM-72粒, <u>DM-72㊦粒</u> , NC-326粒, NH-728粒, NH-728-1kg粒, <u>NH-728㊦粒</u> .	NH-728㊦-1kg粒, NH-9107粒, NH-9108粒, NH-9109粒.		
VII-3-(2)	一年生持続 型除草剤		<u>CGM-15粒</u> , <u>SUM-72粒</u> .	CG-187粒.		
VIII-1.	少量散布法		DPX-84CG粒, KUH-883粒, KUH-883㊦粒, NC-311CG粒, SW-907粒.			
VIII-2.	少量散布		CG-113粒, <u>KH-218粒</u> , MO-338粒, <u>MTS-1粒</u> .			

注: 1) 本年度新規に使用基準の作成されたものは、薬剤名はアンダーラインを記した。

2) 本年度は「継?」および「中止」と判定された薬剤はなかった。



**ひと足伸びた
馬力の一発。**

シンザン粒剤は、処理適期幅が広く、農作業上極めて便利で省力化の時代に応じて、今ここに新しいタイプの初・中期一発処理除草剤の誕生です。

〈シンザン普及会〉
塩野義製薬・八洲化学工業・アグロス・
日本バイエルアグロケム・住友化学工業
(事務局)
三井東圧化学株式会社
東京都千代田区麩が間3-2-5

水田初・中期一発処理除草剤
シンザン® 粒剤

(株)住友化学工業・(株)日本バイエルアグロケム・(株)三井東圧化学の共有登録商標

第3表 平成3年度水稲関係除草剤使用基準一覧表

II-1. 移植前土壌混和処理

	処理法	地域名	作期	ベ1	一年広葉マシイ	オシイ	ウチ	ミカサ	ハチマシ	ウチイ	カサ	ヒムシ	藻類表層剥離		処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意	
Ⅱ-1 1. CG-113 乳	土壌混和処理	北海道		○	○	○				○					植代時 (～4)	50ml/a	○	○	○	○	2	* 混和時の水深 3-5cm ** 混和深 2-3cm	
		東北		○	○	○				○							○	○	○	○			
		北陸		○	○	○				○							○	○	○				
		関東・東山・東海	早	●	●	●		●									●	●	●	●	1		
			普	○	○	○		●									○	○	○	○			
		近畿・中国	早	○	○	○		○									○	○	○	○			
			普	○	○	○		○									○	○	○	○			
		四国	早	○	○	○		○									○	○	○	○			
			普	○	○	○		○									○	○	○	○			
		九州	早																				
			普	●	●	●													●	●			

II-1
2. HOK-913 乳 「継」II-1
3. KPP-314 乳 「継」II-1
4. KPP-314 フロアブル 「継」II-1
5. KPP-2005 フロアブル 「継」

	処理法	地域名	作期	ベ1	一年広葉マシイ	オシイ	ウチ	ミカサ	ハチ	ウチイ	ササ	ヒムシ	藻類表層剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意	
II-1 6. TCG-128 乳	土壌混和処理	北海道		○	○	○				○				移植時 (～4)	50ml/a	● 1.5	○	○	○	2	* 混和時の水深 3～5cm ** 混和深 2～3cm	
		東北		●	●	●		●								●	●	●				
		北陸		●	●	●		●								●	●	●				
		関東・東山・東海	早	●	●	●		●								●	●	●	●	1		
		普	●	●	●		●									●	●	●	●	2		
		近畿・中国	早	○	○	○		○									○	○	○	1		
		普	○	○	○		○									○	○	○				
		早	○	○	○		○										○	○				
		四国	普	○	○	○		○									○	○	○			
		九州	早																			
		普																				

II-2. 移植前後土壌処理

	処理法	地域名	作期	ベ1	一年 広葉 マシイ	オシイ	ウチ	ミカサ 刈	ハラ 刈	知ウ イ	サカ シ	ヒムシ D	藻類 表層 剥離				処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意	
Ⅱ-2 1. CG-113 -1kg 粒	土壌処理	北海道		●1	●	●始			●始								植代後～-4 +0～+5 (7L 1L)	100 g/a		●	●	●	2		
		東北		●1	●	●始		●始	●始											●	●	●			
		北陸		●1	●	●始		●始	●始											●	●	●			
		関東 ・東山 ・東海	早	●1	●	●始												植代後～-4 +0～+3			●	●	●		
			普																						
		近畿 ・中国	早																						
			普																						
		四国	早																						
			普																						
		九州	早																						
			普																						

II-2. 移植前後土壌処理 つづき

II-2 2.KPP-314 粒	「継」
II-2 3.KPP-314 フロアブル	「継」
II-2 4.KPP-2005 粒	「継」
II-2 5.KPP-2005 フロアブル	「継」

	処理法	地域名	作期	元I	一年広葉マツ	オシイ	ウカ	ミカ	ヘラ	ウカ	オシイ	オシイ	ヒル	落葉表層剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	壤土	壤土	減水深 cm/d	使用上の注意
II-2 6.MO-338 -1kg 粒	土壌処理	北海道		●1	●										植代後~-4 +0~+6 (元I 1L)	100 g/a	●	●	●	●	2	
		東北		●1	●												●	●	●	●		
		北陸		●1	●												●	●	●	●		
		関東・東山・東海	早																			
			普																			
		近畿・中国	早																			
			普																			
		四国	早																			
			普																			
		九州	早	●1	●												●	●	●	●	1	
			普	●1	●												●	●	●	●	2	

	処理法	地域名	作期	元I	一年広葉マツ	オシイ	ウカ	ミカ	ヘラ	ウカ	オシイ	オシイ	ヒル	落葉表層剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	壤土	壤土	減水深 cm/d	使用上の注意
II-2 7.MTS-1 フロアブル	土壌処理	北海道		●1	●	●始			●始						植代後~-4 +0~+5 (元I 1L)	100 ml/a	●	●	●	●	2	
		東北		●1	●	●始											●	●	●	●	1	
		北陸		●1	●	●始											●	●	●	●		
		関東・東山・東海	早	●1	●	●始											●	●	●	●		
			普	●1	●	●始											●	●	●	●		
		近畿・中国	早	●1	●	●始											●	●	●	●		
			普	●1	●	●始											●	●	●	●		
		四国	早	●1	●	●始											●	●	●	●		
			普	●1	●	●始											●	●	●	●		
		九州	早														●	●	●	●		
			普																			

	処理法	地域名	作期	元I	一年広葉マツ	オシイ	ウカ	ミカ	ヘラ	ウカ	オシイ	オシイ	ヒル	落葉表層剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	壤土	壤土	減水深 cm/d	使用上の注意
II-2 8.MTS-1 -1kg 粒	土壌処理	北海道		●1	●	●始			●始						植代後~-4 +0~+5 (元I 1L)	100 g/a	●	●	●	●	2	
		東北		●1	●	●始			●始						植代後~-4 +0~+7 (元I 1L)		●	●	●	●		
		北陸		●1	●	●始			●始								●	●	●	●		
		関東・東山・東海	早																			
			普																			
		近畿・中国	早																			
			普																			
		四国	早																			
			普																			
		九州	早																			
			普																			

II-3. 移植後土壌処理

	処理法	地域名	作期	元1	一年広葉マツ	オシロイ	ウツカ	ミナソウ	ハナミ	カウイ	ササ	ヒメシ	落葉表層剥離		処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
Ⅱ-3 1. KH-218 粒	土壌処理	北海道		○1.5	○	○始				○始					+3~元11.5L	300g/a		○	○	○	2	(18)
		東北		○1.5	○	○始											○	○	○	○		
		北陸		○1.5	○	○始											○	○	○	○		
		関東・東山・東海	早	○1.5	○	○始												○	○	○	1.5	
			普	○1.5	○	○始												○	○	○	2	
		近畿・中国	早	○1.5	○	○始												○	○	○	1	
			普	○1.5	○	●始		○始									●	○	○	○		
		四国	早	○1.5	○	○始												○	○	○		
			普	○1.5	○	●始		○始									●	○	○	○		
		九州	早	○1.5	○	●始											○	○	○	○		
			普	○1.5	○													○	○	○	1.5	

	処理法	地域名	作期	元1	一年 広葉 マツ	オシロイ	ウツカ	ミナソウ	ハナミ ツ	カウイ	ササ	ヒメシ ロ	落葉 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意
Ⅱ-3 2. NC-311 -1kg 粒	土 壌 処 理	北海道			●	●2	●2			●2			●発 土 期	●再 土 前 5 始	+12~+20	100 g/a	1.5 ●	●	●	●	2	(21) (28)
		東北																				
		北陸																				
		関東・東山・東海	早																			
			普																			
		近畿・中国	早																			
			普																			
		四国	早																			
			普																			
		九州	早																			
			普																			

	処理法	地域名	作期	元1	一年 広葉 マツ	お杉	ウツカ	ミナソウ	ハナミ ツ	知ツイ	ササ	ヒメシ ロ	落葉 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壤 土 1.5	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意		
Ⅱ-3 3. NSK-852 粒	土壌 処理	北海道		○1.5	○					○始					+3~元11.5L	300g /a	●	○	○	○	2	(18) (26)		
		東北		○1.5	○					●始					●		○	○	○					
		北陸		●1.5	●										●		●	●	●					
		関東・ 東山・ 東海	早	●1.5	●										●		●	●	●					
			普	○1.5	○													○	○	○				
		近畿・ 中国	早	●1.5	●	●始												●	●	●				
			普	○1.5	○	●始												○	○	○	○			
		四国	早	●1.5	●	●始													●	●	●			
			普	○1.5	○	●始													○	○	○		○	
		九州	早	●1.5	●															●	●		●	
			普	○1.5	○																○		○	

II-3. 移植後土壌処理 つづき

	処理法	地域名	作期	元I	一年広葉マツバ	ナリイ	ウカ	ミカサ判	ハラミ効	ウカイ	ナリイ	ヒムロ	落類表層剥離		処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意		
II-3 4. SL-652 (グラナイス)	土壌処理	北海道		○1.5	○	○始		○始		○始			○始	○発生期	+3~元11.5L	1.5 300g/a	○	○	○	○	2	(7) (8)		
		東北		○1.5	○	○2			○始								○	○	○	○				
		北陸		○1.5	○	○2	○始	○始						○発生期			○	○	○	○				
		関東・東山・東海	早	○1.5	○	○2									○発生期		+3~元12L	1.5	○	○	○		○	
		普	○2	○	○2	○2	○始					○始	○発生期	○	○			○	○					
		近畿・中国	早	○2	○	○2	○始	○始					○始	○発生期	○			○	○	○	1			
		普	○2	○	○2	○始	○始					○始	○発生期	○	○		○	○	1.5					
		四国	早	○2	○	○2	○始	○始					○始	○発生期	○		○	○	○	1				
		普	○2	○	○2	○始	○始					○始	○発生期	○	○		○	○	1.5					
		九州	早	●1.5	●	●2	●始	●始					●始				+3~元11.5L			●	●		1	
		普	○1.5	○	○2	○2	○始					○始	○発生期	○	○			○	○	1.5				

II-3

5. SW-914 袋

「継」

II-3

6. TJM-162 フロアブル

「継」

	処理法	地域名	作期	元I	一年 広葉 マツバ	ナリイ	ミカサ リ	ハラミ リ	ウカ リ	ナリイ	ナリイ	ヒムシ 口	落類 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水深 cm/d	使用上 の注意	
Ⅱ-3 7. TSJ-756 粒 Ⅱ-6-(1) 27 併用	土壌処理	北海道		○1.5	○	○始			○始						+3~元11. 5L	1.5 300g /a	○	○	○	○	2	(18) (42)	
		東北		○1.5	○	○始		○始	○始	○始							○	○	○	○			
		北陸		○1.5	○	○始		○始									○	○	○	○			
		関東・東山・東海	早	○1.5	○	○始		○始									●	○	○	○			
			普	○1.5	○	○始		○始		○始							○	○	○	○			
		近畿・中国	早	○1.5	○	○始		○始										○	○	○	○		1
			普	○1.5	○	○始		○始		○始							○	○	○	○			
		四国	早	○1.5	○	○始		○始										○	○	○	○		
			普	○1.5	○	○始		○始		○始							○	○	○	○			
		九州	早	○1.5	○	○始		●始										○	○	○	○		
			普	○1.5	○	○始		●始		○始								○	○	○	○		

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(東北、関東・東山・東海、近畿・中国、四国、九州)

II-3

8. TSR-121 フロアブル

「継」

II-3

9. Y-873-1kg 粒

「継」

II-3

10. Y-873T-1kg 粒

「継」

II-3

追加 JC-940 粒

II-6-(1) 8. 参照

[illegible][illegible]

	処理 法	地域名	作 期	A ₁	一年 広葉 材イ	木イ	サウ 材イ	ミナ 材イ	ハタ 材イ	カ 材イ	ヒム 材イ	落 葉 層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 埃土	壤 土	埴 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意
II-5 2.NC-311 粒	土壤処理	北海道		○	○	○	○	○			○	○	○	+12→+20	1. 300g/a	○	○	○	○	2	(21) (28) (42)
		東北		○	○	○	○	○	○	始	○	○	再生前?	加勿信 +20→+25 →+35→+40 (2回散布)		○	○	○	○		
		北陸		○	○	○	○	○	○	○	○	○	再生前?			○	○	○	○		
II-6-(2)併用		関東・東山・東海	早	○	○	○	○	○					○	〃発生始～ 〇本葉展開期		1	○	○	○	○	1.5
		近畿・中国	昔	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	2
			早	○	○	○	○	○		○	○	○	○				○	○	○	○	1
		四国	昔	○	○	○	○	○		○	○	○	○				○	○	○	○	
			早	○	○	○	○	○		○	○	○	○				○	○	○	○	
			昔	○	○	○	○	○		○	○	○	○				○	○	○	○	
	九州		早	○	○	○	○	○		○	○	○	○	+15→+20		○	○	○	○	2	
			昔	○	○	○	○	○		○	○	○	○	+10→+15		○	○	○	○	2	

クログワイ徹底防除には2回散布の連年施用をする（関東～四国）
 クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する（東北）
 オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する（北陸・関東・東山・東海）

II-5. 適用時期拡大 つづき

	処理法	地域名	作期	ベI	一年広葉マツバ	オシロイ	ウツク	ミナタツ	ハナツ	カウイ	オシロイ	ヒルシロ	落葉表層剥離		処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
II-5 3. NC-311NS 粒 II-6-(1) 15 併用	土壌処理	北海道													+15~+20	300 g/a					2	(21) (28) (42)
		東北			●	●2	●2		●2	●始		●発生期						●	●	●		
		北陸			●	●2			●2									●	●	●		
		関東・東山・東海	早																			
			普		●	●2		●2		●始(●2)								●	●	●		
		近畿・中国	早																			
			普		●	●2	●2	●2		●始								●	●	●		
		四国	早																			
			普		●	●2	●2	●2		●始								●	●	●		
		九州	早																			
			普		●	●2	●2	●3		●始								●	●	●		

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する(東北・関東・東山・東海)

	処理法	地域名	作期	ベI	一年広葉マツバ	オシロイ	ウツク	ミナタツ	ハナツ	カウイ	オシロイ	ヒルシロ	落葉表層剥離		処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
II-5 4. NS-177 粒 II-6-(1) 24 II-6-(2) 16 II-6-(5) 8 II-6-(6) 7 併用	茎葉兼土壌処理	北海道		●2.5	●	●2	●2		●2			●発生期	1) 刈り ●始-3L 2) 刈り ●草丈5cm以下		+20~+25 (ベI 2.5L)	300 g/a		●	●	●	2	(1) (8) (21) (38) (40) (42) (43)
		東北		●2.5	●	●2	●2	●2	●2	●始								●	●	●		
		北陸		●2.5	●	●2	●2	●2	●2	●始	●矢効葉1L							●	●	●		
		関東・東山・東海	早																			
			普	●2	●	●2		●2		●始	●2							●	●	●		
		近畿・中国	早																			
			普							(●始)												
		四国	早																			
			普							(●始)												
		九州	早																			
			普																			

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する(東北・関東・東山・東海)
オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する(北陸)

	処理法	地域名	作期	ベI	一年広葉マツバ	オシロイ	ウツク	ミナタツ	ハナツ	カウイ	オシロイ	ヒルシロ	落葉表層剥離		処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
II-5 5. TH-913⊕ 粒 II-6-(1) 26 併用	土壌処理	北海道			●	●2	●2		●2			●発生期	●前	●再生前	+10~+15	300 g/a		●	●	●	2	(21) (42)
		東北			○	○2	○2	○2		●始			●発生期					○	○	○		
		北陸			○	○2	○2	○2						●始				○	○	○		
		関東・東山・東海	早																			
			普		○	○2	○2	●2		●始							2	○	○	○		
		近畿・中国	早																			
			普		○	○2	○2	○2		●始								○	○	○		
		四国	早																			
			普		○	○2	○2	○2		●始								○	○	○		
		九州	早																			
			普		○	○2	○2	●2										○	○	○		

II-5. 適用時期拡大 つづき

	処理法	地域名	作期	ベI	一年 広葉 マツ	オシイ	ウチ	ミナ ツ	ハナ ツ	カウ イ	カウ イ	ヒメ シ	落葉 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意
II-5 6. モリネ-トSM 粒	茎葉 兼土壌 処理	北海道													+20~+30 (19SL 以降)	100 g/a						(1) (8) (9) (21) (39)
		東北		●3.5	●	●3	●4	●3	●4		●矢 じの 葉1 5枚 まで		●発 生 期				●	●	●	●	2	
		北陸		●3.5	●	●3	●4	●3	●4		●		●				●	●	●	●		
		関東 ・東山 ・東海	早																		1	
			普	●3	●	●3	●3	●3											●	●		
		近畿 ・中国	早																			
			普																			
		四国	早																			
			普																			
		九州	早																			
			普																			

II-5
追加. BAS-3510NaO 液 II-6-(1) 1. 参照II-5
追加. BAS-3510Na 粒 II-6-(7) 1. 参照II-5
追加. DPX-84 粒 II-6-(7) 3. 参照II-5
追加. DPX-84 O 粒 II-6-(1) 4. 参照

II-6-(1) クログワイ 対象

	処理法	地域名	作期	ベI	一年 広葉 マツ	オシイ	ウチ	ミナ ツ	ハナ ツ	カウ イ	カウ イ	ヒメ シ	落葉 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意
II-6-(1) 1. BAS-3510 NaO 液 II-5と併用	茎葉 兼土壌 処理	北海道			○	○**	○*		○*					イソヤ ○1~4L 20cm	+25~+55	50 ~70 ml/a	○	○	○	○		(6) (10) (11) (12) (21) (20)
		東北			○生 青一 期	○*	○*	○*	○*	○生 盛期	○*			ウチ ツ ○10~30cm			○	○	○	○		
		北陸			○	○※	○※	○※	○*	○生 盛期				増殖期 ○			○	○	○	○		
		関東 ・東山 ・東海	早		○生 青一 期	○※	○※	○※		○15 S ○30 cm	○生 盛期			本葉展開期 ウチ ツ ○			○	○	○	○		
			普		○期	○※	○※	○※	○*	○生 盛期	○失 功葉 4枚 5-6L			ウチ ツ ○			○	○	○	○		
		近畿 ・中国	早		○生 青一 期	○※	○※	○※	○*	○生 盛期				本葉展開期 ウチ ツ ○			○	○	○	○		
			普		○期	○※	○※	○※	○*	○生 盛期				ウチ ツ ○			○	○	○	○		
		四国	早		○生 青一 期	○※	○※	○※	○*	○生 盛期	○生 盛期						○	○	○	○		
			普		○期	○※	○※	○※	○*	○生 盛期				ウチ ツ ○			○	○	○	○		
		九州	早		○生 青一 期	○*	○※	○※		○30 cm				増殖期 ウチ ツ ○			○	○	○	○		
			普		○期	○※	○※	○※		○				ウチ ツ ○			○	○	○	○		

**発生盛期~花茎抽出期 *発生盛期~増殖初期 ※発生盛期~増殖中期
 カウイ 徹底防除は2回散布0 連年施用す。
 (東北、関東~九州の普通期、関東・東山・東海の早期、九州の早期)

カウイ 2回散布: +20~+40 → +30~+50
 カウイ 多発田は2 回散布: +30 → +45
 カウイ +30~+40

II-6-(1) つづき

処理法	地域名	作期	元I	一年広葉マツ	ナリ	ミナリ	ハナリ	知リ	ナリ	ヒナリ	落葉表層剥離	セリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	植土	減水深cm/d	使用上の注意
II-6-(1) 2. DM-72 粒 VII-1に併用 II-6-(2) 1 II-6-(5) 1 II-6-(6) 1 併用	北海道			○1.5	○	○2	○2	○2		○発生	○前	○再生 ●始	+5 ~ 元11.5L	300 g/a		○	○	2	(26) (28) (42) (38)
	東北			○1.5	○	○2	○2	○2	●始	●始	○期	○前				○	○		
	北陸											○再生 ●始							
	関東・東山・東海	早																	
	近畿・中国	早																	
		普																	
	四国	早																	
		普																	
	九州	早																	
		普																	

II-6-(1)
2. DM-72粒

VII-3-(1)にも併用

VII-3-(1) 1 参照

II-6-(1)
3. DM-72○粒

「継」

処理法	地域名	作期	元I	一年広葉マツ	ナリ	ミナリ	ハナリ	知リ	ナリ	ヒナリ	落葉表層剥離	セリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	植土	減水深cm/d	使用上の注意
II-6-(1) 4. DPX-84○ 粒 II-5に併用 II-6-(2)も併用	北海道																		
	東北																		
	北陸			○	○2	○2	○2	○2		○2		○再生始	+15 ~ +20	300 g/a		○	○	2	(21) (28) (38) (42)
	関東・東山・東海	早		○	○2	○2	○2		○始	○2	○前	○再生始	知リ付 +20 ~ +25 +40 ~ +45 (2回散布)			○	○	1	
		普		○	○2	○2	○2		○始	○2	○前	○再生始				○	○		
	近畿・中国	早		○	○3	○2	○3		○始			○再生始				○	○		
		普		○	○2	○2	○3		○始			○再生前~始				○	○		
	四国	早		○	○3	○2	○3		○始			○再生前~始				○	○		
		普		○	○2	○2	○3		○始			○再生前~始				○	○		
	九州	早						○始				○再生前~始				○	○		
		普						○始				○再生前~始				○	○		(有効)

知リ付 徹底防除 2回散布 連年施用。 (関東~四国)
ナリ付 有効 割合 合計 連年施用 効果 向上。 (北陸・近畿・中国・四国・九州)

処理法	地域名	作期	元I	一年広葉マツ	ナリ	ミナリ	ハナリ	知リ	ナリ	ヒナリ	落葉表層剥離	セリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	植土	減水深cm/d	使用上の注意
II-6-(1) 5. DPX-84SC○ 粒 VII-2に併用	北海道																		
	東北																		
	北陸			○2.5	○	○2	○2	○2		○発生	○前	○始	+3 ~ 元12.5L	300 g/a	○	○	○	2	(34) (41) (42)
	関東・東山・東海	早		○2.5	○	○2	○2	○2		○始		○発生始 本葉展開期 元7以降			○	○	○	1	
		普		○2.5	○	○2	○2	○2		○始		○発生前 元7以降			○	○	○	2	
	近畿・中国	早		○2.5	○	○2	○2	○2		○始		○発生前 元7以降				○	○	1	
		普		○2.5	○	○2	○2	○2		○始		○発生前 元7以降				○	○	2	
	四国	早		○2.5	○	○2	○2	○2		○始		○発生前 元7以降				○	○	1	
		普		○2.5	○	○2	○2	○2		○始		○発生前 元7以降				○	○	2	
	九州	早		○2.5	○	○2	○2	○2		○始		○発生前 元7以降				○	○	1.5	
		普		○2.5	○	○2	○2	○2		○始		○発生前 元7以降				○	○		

知リ付 有効 割合 合計 連年施用 効果 向上。 (関東・近畿・中国・四国・九州)

VII-1 7 参照

加効化有効 剤と組合 合せて 連年施用することにより、さき 効果 向上す。 (関東～九州)
 有効に 有効に 合せて 連年施用することにより、さき 効果 向上す。 (北陸、関東～九州)

知効化有効。新の組合地で連年施用に比べ、その効果が向上する。(関東・東山・東海)

VI-1 9 参照

「斗米」

東京都台東区台東1-26-6(植調会館)
〒110 TEL.03-3833-1821(代)

II-6-(1) つづき

II-6-(1) 11. KUH-883粒	VII-1	11	参照
II-6-(1) 12. KUH-883◎粒	VII-1	13	参照
II-6-(1) 13. NC-311CG粒	VII-1	15	参照
II-6-(1) 14. NC-311CG◎粒	VII-1	17	参照
II-6-(1) 15. NC-311NS粒	II-5	3	参照
II-6-(1) 16. NC-311R粒	VII-2	8	参照
II-6-(1) 17. NC-311SC◎粒	VII-2	9	参照
II-6-(1) 18. NC-311T 粒	VII-2	11	参照
II-6-(1) 19. NC-326 粒	VII-3-(1)	3	参照
II-6-(1) 20. NC-329 粒	VII-2	15	参照
II-6-(1) 21. NH-728 粒	VII-3-(1)	4	参照
II-6-(1) 22. NJM-754 粒	VII-1	21	参照

	処理法	地域名	作期	元I	一年 広葉 マバ	ササ イ	ミカ サ	ハサ サ	加サ イ	ササ イ	ミカ サ	落葉 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	腐 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意
II-6-(1) 23. NS-112 粒	土壌 処理	北海道																		
		東北							○始						300 g/a		○	○	1	(42)
		北陸																		
		関東 ・東山 ・東海	早																	
			昔						○始								○	○	○	
		近畿 ・中国	早																	
			昔						●始								●	●	●	
		四国	早																	
			昔						●始								●	●	●	
		九州	早						○始								○	○	○	
			昔																	

加サイ有効 剥離組と合して連年施用することにより効果向上。 (関東～四国)
連年施用することにより腐敗が早可能 (東北)

II-6-(1) 24. NS-177 粒	II-5	4	参照
II-6-(1) 25. SKH-8602◎粒	VII-1	29	参照
II-6-(1) 26. TH-913◎粒	II-5	5	参照
II-6-(1) 27. TSJ-756 粒	II-3	7	参照
II-6-(1) 28. MY-911 粒	「継」		

Ⅱ-6-(2) オモダカ 対象

Ⅱ-6-(2) 1. DM-72	粒	Ⅶ-1、Ⅶ-3-(1) に併用、Ⅱ-6-(1) 2、Ⅶ-3-(1) 1参照
Ⅱ-6-(2) 2. DM-72○	粒	「継」
Ⅱ-6-(2) 3. DPX-84○	粒	Ⅱ-5に併用、Ⅱ-6-(1) 4参照
Ⅱ-6-(2) 4. DPX-84SKH○	粒	Ⅶ-1 7 参照
Ⅱ-6-(2) 5. DPX-84TD○	粒	Ⅶ-2に併用、Ⅱ-6-(1) 7参照
Ⅱ-6-(2) 6. KH-255	粒	Ⅶ-1 9 参照
Ⅱ-6-(2) 7. KH-255 ○	粒	Ⅶ-1 10参照
Ⅱ-6-(2) 8. KUH-883	粒	Ⅶ-1 11参照
Ⅱ-6-(2) 9. KUH-883○	粒	Ⅶ-1 13参照
Ⅱ-6-(2) 10. NC-311	粒	Ⅱ-5 2 参照
Ⅱ-6-(2) 11. NC-311R	粒	Ⅶ-2 8 参照
Ⅱ-6-(2) 12. NC-311SC○	粒	Ⅶ-2 9 参照
Ⅱ-6-(2) 13. NC-326	粒	Ⅶ-2 13およびⅦ-3-(1) 3参照
Ⅱ-6-(2) 14. NC-329	粒	Ⅶ-2 15 参照
Ⅱ-6-(2) 15. NH-728	粒	Ⅶ-3-(1) 4参照
Ⅱ-6-(2) 16. NS-177	粒	Ⅱ-5 4 参照
Ⅱ-6-(2) 17. SKH-8602○粒		Ⅶ-1 29 参照

Ⅱ-6-(3) セリ 対象

Ⅱ-6-(3) 1. KUH-883○	粒	Ⅶ-1 13参照
------------------------	---	----------

Ⅱ-6-(5) シズイ 対象

Ⅱ-6-(5) 1. DM-72	粒	Ⅶ-1、Ⅶ-3-(1) に併用、Ⅱ-6-(1) 2、Ⅶ-3-(1) 1参照
Ⅱ-6-(5) 2. DPX-84SKH○	粒	Ⅶ-1 7 参照
Ⅱ-6-(5) 3. JC-940	粒	「継」
Ⅱ-6-(5) 4. KH-255	粒	Ⅶ-1 9 参照
Ⅱ-6-(5) 5. NC-311SC○	粒	Ⅶ-2 9 参照
Ⅱ-6-(5) 6. NC-326	粒	Ⅶ-3-(1) 3参照
Ⅱ-6-(5) 7. NC-329	粒	Ⅶ-2 15 参照
Ⅱ-6-(5) 8. NS-177	粒	Ⅱ-5 4 参照
Ⅱ-6-(5) 9. SKH-8602○粒		Ⅶ-1 29 参照

II-6-(7) クサネム 対象 つづき

II-6-(7) 3.KUH-883 粒	VII-1 11 参照
II-6-(7) 6.NC-311CG 粒	VII-1 15 参照
II-6-(7) 7.NC-311R 粒	VII-2 8 参照
II-6-(7) 8.NC-311SCO粒	VII-2 9 参照
II-6-(7) 9.NC-311T 粒	VII-2 11 参照

II-6-(8) コウキヤガラ 対象

II-6-(8) 1.DPX-84TDO粒	VII-2 併用、II-6-(1) 7 参照
II-6-(8) 2.J8-946 粒	「継」
II-6-(8) 3.KUH-883O 粒	VII-1 13 参照
II-6-(8) 4.NC-311CG 粒	VII-1 15 参照
II-6-(8) 5.NC-311CGO粒	「継」
II-6-(8) 6.NC-311R 粒	VII-2 8 参照
II-6-(8) 7.NC-311SCO粒	VII-2 9 参照

III-1 湛水直播

	処理法	地域名	作期	元1	一年広葉マツノイ	オシロイ	ミナソノイ	ハナソノイ	カサノイ	ササノイ	ヒメソノイ	落葉層剥離		処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	植壌土	減水深 cm/d	使用上の注意
III-1 1.DPX-84M 粒	土壌処理	北海道		O2	O	O2	O2	O2				○発生期	○発生期	40.5L ~ 元1 2L	300 g/a	○	○	○	2	
		東北		O2	O	O2	O2	O2												
		北陸																		
		関東・東山・東海	早																	
			普																	
		近畿・中国	早																	
			普																	
		四国	早																	
			普																	
		九州	早																	
			普																	

III-1
2.KUH-883O 粒 「継」

	処理法	地域名	作期	元1	一年 広葉 マツノイ	オシロイ	刈草	ミナソノイ	ハナソノイ	カサノイ	ササノイ	ヒメソノイ	落葉層 剥離		処理時期	使用量・ 製品	砂 壌土	壤 土	植 壌土	減水 深 cm/d	使用上 の注意		
Ⅲ-1 3.NC-311HW 粒	土壌 処理	北海道		●2	●	●2	●2		●2			●発生 期		●刈 再生前~始	40.5L ~ 元1 2L	300 g/a	●	●	●	2			
		東北		●2	●	●2	●2										●	●	●				
		北陸		●2	●	●2	●2										●	●	●				
		関東 ・東山 ・東海	早																				
			普	●2	●	●2	●2	●2				●発生 期		●刈 再生前~始				●	●	●			
		近畿 ・中国	早																				
			普	●2	●	●始	●2	●2										●	●	●	●	1.5	
		四国	早																				
			普	●2	●	●始	●2	●2										●	●	●	●		
		九州	早																				
			普	●2	●	●2	●2													●	●	●	1

Ⅲ-1 湛水直播 つづき

Ⅲ-1 4. NC-311SCD 粒	「継」
Ⅲ-1 5. TH-913HSK 粒	「継」
Ⅲ-1 6. TH-913HW 粒	「継」

Ⅲ-2 乾田直播

													処理時期	使用 量・製品	砂 壌 土	壤 土	埴 壌 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意				
Ⅲ-2 I. KUH-883D 粒	土 壌 処 理	北海道											入水後7日 ～Ⅾ1 2L	300 g/a					2					
		東北																						
		北陸																						
		関東・東山・東海	早																					
			普	○2	○	○2	○2	○2							○発生期	●発生前					○	○	○	
		近畿・中国	早																					
			普	○2	○	○始	○始	○始														○	○	○
		四国	早																					
			普	○2	○	○始	○始	○始															○	○
		九州	早																					
普																								

Ⅲ-2 2. KUH-911 液	「継」
Ⅲ-2 3. KUH-911A フロアブル	「継」

Ⅲ-2 4. KUH-914 乳	処理法	地域名	作 期	代1	一年 広葉マ刈	ホムイ	刈刈	ミタリ	ヘタリ	知リイ	サカ	ヒムシ	落類 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 壌 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意			
	茎葉兼土壌処理	北海道													+15～代13L (入水前)	80～ 100 ml/a					DOPA剤の 使用上の注 意事項を 守る				
		東北																							
		北陸																							
		関東・東山・東海	早																						
			普	●3	●															●		●	●		
		近畿・中国	早																						
			普	●3	●																	●	●	●	
		四国	早																						
			普	●3	●																		●	●	●
		九州	早																						
		普																							

	処理法	地域名	作期	代1	一年 広葉 マ刈	ホムイ	刈刈	ミタリ 刈	ヘタリ 刈	知リイ	サカ 刈	ヒムシ 刈	落類 表層 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 壌 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意		
Ⅲ-2 5.トリフルラン 粒	土 壌 処 理	北海道												播種後～ ノビエ発生前	400 ～500 g/a								
		東北																					
		北陸																					
		関東・東山・東海	早																				
			普																				
		近畿・中国	早																				
			普	●														●	●			●	
		四国	早																●			●	●
			普	●															●			●	●
		九州	早																				
普																							

IV 畦畔雑草

	処理法	地 域 名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
IV 1. DCMU フロアブル	茎葉・土壌処理	北海道					
		東 北	○ 全草種	発生前～生育初期 (草丈20cm以下)	20～25g/a	全土壌	(23) (24)
		北 陸	○				
		関東・東山・東海	○				
		近畿・中国	○				
		四 国	○				
		九 州					

	処理法	地 域 名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
IV 2. Hoe -86610 液	茎葉処理	北海道	● 全草種	雑草生育期 (草丈30cm以下)	100～200ml/a	全土壌	(23) (24)
		東 北	○				
		北 陸	○				
		関東・東山・東海	○				
		近畿・中国	○				
		四 国	○				
		九 州	○				

	処理法	地 域 名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
IV 3. Hoe-866 -3H 水和	茎葉処理	北海道					
		東 北					
		北 陸					
		関東・東山・東海	● 全草種	雑草生育期 (草丈30cm以下)	50～75g/a	全土壌	(23) (24)
		近畿・中国	●				
		四 国	●				
		九 州	●				

	処理法	地 域 名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
IV 4. HSW-9106 液	茎葉処理	北海道	● 全草種	雑草生育期 (草丈10cm以下)	500～700ml/a	全土壌	(23) (24)
		東 北					
		北 陸					
		関東・東山・東海					
		近畿・中国					
		四 国					
		九 州					

IV
5. KUH-913 液 「継」

	処理法	地 域 名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
IV 6. Mon-8794 液	茎葉処理	北海道	○ 全草種	雑草生育期 (草丈20～30cm)	30～50ml/a (*)	全土壌	(23) (24)
		東 北	○				
		北 陸	○				
		関東・東山・東海	○		40～50ml/a (*)		
		近畿・中国	○				
		四 国	○				
		九 州	○				

*少量散布：希釈水量2、5l/a、5l/aでも有効、専用の散布機を用いる（全域）

Ⅳ 畦畔雑草 つづき

処理法	地 域 名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
Ⅳ 7. MW-851 液	北海道	○ 全草種	雑草生育期 (草丈30cm以下)	50~100ml/a	全土壌	(23) (24)
	東 北	○				
	北 陸	○				
	関東・東山・東海	○				
	近畿・中国	○				
	四 国	○				
	九 州	○				

	処理法	地 域 名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
Ⅳ 8. グリホサート 水溶	茎葉処理	北海道	全草種	雑草生育期	30～50g/a （＊）	全土壌	(23) (24)
		東 北					
		北 陸					
		関東・東山・東海					
		近畿・中国					
		四 国					
		九 州					

*少量散布：希釈水量2. 5ℓ/aでも有効、専用の散布機を用いる（全域）

Ⅴ 耕起前雑草

処理法	地 域 名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
Ⅴ 1. BGX-816 水溶	北海道					
	東 北	○ 一年生雑草	雑草生育期 耕起前20日以前	40~60g/a	全土壌	(25)
	北 陸	○	雑草生育期 耕起前10日以前			
	関東・東山・東海	○	雑草生育期 耕起前20日以前			
	近畿・中国	○	雑草生育期 耕起前20日以前			
	四 国	○	雑草生育期 耕起前10日以前			
	九 州	○	雑草生育期 耕起前10日以前			

処理法	地 域 名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
Ⅴ 2. Mon-8794 液	北海道					
	東 北	○ 一年生雑草 イネ科多年生雑草	雑草生育期 耕起前20日以前	30~50ml/a *	全土壌	(25)
	北 陸	○				
	関東・東山・東海	○ 一年生雑草				
	近畿・中国	○				
	四 国	○				
	九 州	○ 一年生雑草・ジョウヌムシ				

*少量散布：希釈水量2. 5ℓ/a, 5ℓ/aでも有効、専用の散布機を使用する（全域）

処理法	地 域 名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
Ⅴ 3. MW-851 液	北海道					
	東 北	○ 一年生雑草	雑草生育期 耕起前20日以前	50~75ml/a	全土壌	(25)
	北 陸	○	雑草生育期 耕起前15日以前			
	関東・東山・東海	○	雑草生育期 耕起前20日以前			
	近畿・中国	○	雑草生育期 耕起前20日以前			
	四 国	○	雑草生育期 耕起前20日以前			
	九 州	○	雑草生育期 耕起前20日以前			

VII-1 初期一発処理別

	処理法	地域名	作期	デ1	一年広葉マツバ	オハク	ウグサ	ミナモト	ハナハ	カクイ	オハク	ヒメシ	落類表層剥離	セリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	塩壌土	塩土	減水深 cm/d	使用上の注意
VII-1 1. DM-72Q 粒	土壌処理	北海道													+3~デ11.5L +5~デ11.5L	300 g/a					2	(28) (3) (26)
		東北		●1.5	●	●2	●2	●2				●発生	●前	●再生					●●			
		北陸		○1.5	○	○2	○2	○2	○2					○再生					○	○		
		関東・東山・東海	早	○1.5	○	○2	○2	○始						○再生			1.5		○	○		
			普	○1.5	○	○2	○2	○始					○前	○始					○	○		
		近畿・中国	早	○1.5	○	○2	○2	○2				○発生		○再生					○	○		
			普	○1.5	○	○2	○2	○2				●期		○再生					○	○		
		四国	早	○1.5	○	○2	○2	○2				○発生		○始					○	○		
			普	○1.5	○	○2	○2	○2				●期							○	○		
		九州	早	●1.5	●	●2	●2	●2	●2										●●●●			
			普																			

	処理法	地域名	作期	デ1	一年広葉マツバ	オハク	ウグサ	ミナモト	ハナハ	カクイ	オハク	ヒメシ	落類表層剥離		処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	塩壌土	塩土	減水深 cm/d	使用上の注意
VII-1 2. DPX-84CG 粒	土壌処理	北海道		○2	○	○2	○2		○2			○発生	○前	○*	+5~デ1 2L +5~デ1 2L * 1/2リットル効効1~4L 草丈20cm以下 ** シイ 0~3cm	300 g/a					2	(26) (28) (38) (40) (42)
		東北		○2	○	○2	○2	○2	○2	○始	○始	○期	○前	○**			1.5	○	○	○		
		北陸												○再生					○	○		
		関東・東山・東海	早											○再生								
			普											○再生								
		近畿・中国	早																			
			普																			
		四国	早																			
			普																			
		九州	早																			
			普																			

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する（東北）

	処理法	地域名	作期	デ1	一年広葉マツバ	オハク	ウグサ	ミナモト	ハナハ	カクイ	オハク	ヒメシ	落類表層剥離	セリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	塩壌土	塩土	減水深 cm/d	使用上の注意
VII-1 3. DPX-84CG -1kg 粒	土壌処理	北海道		●1.5	●	●2	●2		●2			●発生	●前	●再生	+5~ デ1 1.5 L	100 g/a	1.5	●	●●	●●	2	(26) (28) (38) (40) (42)
		東北		●1.5	●	●2	●2	●2	●2	●始	●始	●期	●前	●再生					●●	●●		
		北陸												○再生								
		関東・東山・東海	早											○再生								
			普											○再生								
		近畿・中国	早																			
			普																			
		四国	早																			
			普																			
		九州	早																			
			普																			

VII-1 初期一発処理剤 つづき

	処理法	地域名	作期	元1	一年広葉マツバ	オキイ	ウカ	ミカ	ハラカ	カカ	カカ	ヒムシ	落葉表層剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
VII-1 4.DPX -84CGO 粒	土壌処理	北海道		○1.5	○	○2			○2			○2	○前	+3~元11.5L	1.5	○	○	○	2	(26) (28) (34) (38) (42)
		東北		○1.5	○	○始	○始	○2	○始		○始	○発生	セリ ○前~始		300 g/a	○	○	○		
		北陸		○2	○	○2	○2	○2	○2		○始	○期	○前	+3~元12L *ただし、 砂壌土では +7以降とする(北陸)		○*	○	○		
		関東・東山・東海	早	○2	○	○2	○2	○2				○	○前~始				○	○		
			普	○2	○	○2	○2	○2		○始	○始	○	○前~始				○	○		
		近畿・中国	早	○2	○	○始	○2	○2				○発生期	○前	○前~始			○	○	○	1
			普	○2	○	○2	○2	○2		○始		○	○前	○前~始			○	○	○	2
		四国	早	○2	○	○始	○2	○2				○発生	○前	○前~始			○	○	○	1
			普	○2	○	○2	○2	○2		○始		○期	○前	○前~始			○	○	○	2
		九州	早	○1.5	○	○2	○2	○2		○始				+5~元11.5L			○	○	○	1
			普	○1.5	○	○2	○2	○2		○始							○	○	○	2

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する(関東~四国、九州の早期・普通期)

	処理法	地域名	作期	元1	一年広葉マツバ	オキイ	ウカ	ミカ	ハラカ	カカ	カカ	ヒムシ	落葉表層剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
VII-1 5.DPX -84CGO -1kg 粒	土壌処理	北海道																		(26) (28) (34) (38)
		東北												*北陸の砂壌土は+7以降						
		北陸		●1.5	●	●2	●2	●2	●2		●始	●発生期	●前	+3~元11.5L	100 g/a	●*	●	●	●	1
		関東・東山・東海	早	●1.5	●	●2		●2						+5~元11.5L			●	●	●	2
			普	●1.5	●	●2		●2									●	●	●	
		近畿・中国	早																	1
			普	●1.5	●	●始		●2					●前				●	●	●	
		四国	早																	
			普	●1.5	●	●始		●2					●前				●	●	●	
		九州	早																	
			普																	

	処理法	地域名	作期	元1	一年広葉マツバ	オキイ	ウカ	ミカ	ハラカ	カカ	カカ	ヒムシ	落葉表層剥離		処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
VII-1 6.DPX-84MO 粒	土壌処理	北海道														300 g/a					2 (28) (38)
		東北																			
		北陸		○2	○	○2	○2	○2			○始	○	○発生始~盛	+5~元12L			○	○	○	○	
		関東・東山・東海	早	○2	○	○2	○2	○2			○発生期	○	○発生始~盛				○	○	○	○	
			普	○2	○	○2	○2	○2			○始	○	○発生始~盛	+0~元12L			○	○	○	○	
		近畿・中国	早	○2	○	○2	○2	○2			○発生期	○	○	+3~元12L			○	○	○	○	
			普	○2	○	○2	○2	○2			○期	○前	○	+0~元12L	1.5		○	○	○	○	
		四国	早	○2	○	○2	○2	○2			○発生期	○	○発生始~盛	+3~元12L			○	○	○	○	
			普	○2	○	○2	○2	○2			○期	○前	○	+0~元12L	1.5		○	○	○	○	
		九州	早	○2	○	○2	○2	○2			○発生期	○	○	+5~元12L			○	○	○	○	
			普	○2	○	○2	○2	○2			○期	○	○	+3~元12L			○	○	○	○	

VII-1 初期一発処理剤 つづき

	処理法	地域名	作期	元I	一年 広葉 マツ	オシイ	ウツ	ミナツ ツ	ヘナツ ツ	カウ イ	オウ ツ	ヒムシ D	落 葉 表 層 剥 離			処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 壌 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意	
Ⅶ-1 7.DPX -84SKH® 粒 Ⅱ-6-(1) 6 Ⅱ-6-(2) 4 Ⅱ-6-(5) 2 Ⅱ-6-(6) 2 併用	土 境 処 理	北海道		○ <u>2</u>	○	○2	○2		○2			○発 生	○前	○再 生	○再 生	●始・2L ツ・4	300 g/a	○	○	○	○	2	(28) (38) (42)	
		東北		○2	○	○2	○2	○2	○2	●始	●始	○期	●前	○前	○前	●始								+5~21.2L
		北陸														始								
		関東 ・東山 ・東海	早																					
			普																					
		近畿 ・中国	早																					
			普																					
		四国	早																					
			普																					
		九州	早																					
			普																					

	処理法	地域名	作期	元I	一年広葉マツ	オシイ	ウツ	ミナツ	ヘナツ	カウ	オウ	ヒムシ	落葉表層剥離	17月	17月	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴壌土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
VII-1 8. KH-249 [®] 粒	土壌処理	北海道		●1.5	●	●2	●2		●2			●発生	●前	○盛		+3~21.5L	300 g/a	●	●	●	●	2	(34)
		東北		●1.5	●	●2	●2		●2			●発生	●前	○盛									
		北陸		○1.5	○	○2	○2					●前	○盛										
		関東・東山・東海	早	●1.5	●	●始	●始					○前	○盛										
			普	○1.5	○	○始	○始					○前	○盛										
		近畿・中国	早	○1.5	○	○2	○2	○始				○前	○盛	○前	○始								
			普	○1.5	○	○2	○2	○始				○前	○盛	○前	○始								
		四国	早	○1.5	○	○2	○2	○始				○前	○盛	○前	○始								
			普	○1.5	○	○2	○2	○始				○前	○盛	○前	○始								
		九州	早									○前	○盛										
			普	○1.5	○	○2	○始	○始				○前	○盛										

	処理法	地域名	作期	元I	一年広葉マツ	オシイ	ウツ	ミナツ	ヘナツ	カウ	オウ	ヒムシ	落葉表層剥離	17月	17月	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴壌土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
VII-1 9. KH-255 粒 II-6-(1) 9 II-6-(2) 6 II-6-(5) 4 II-6-(6) 3 併用	土壌処理	北海道		●1.5	●	●2	●2		●2			●発生	●前	○始	○再生	+3~21.5L	300 g/a	●	●	●	●	2	(38) (42)
		東北		●1.5	●	●2	●2	●2	●2	●始	●始	●発生	●前	○始	○再生								
		北陸																					
		関東・東山・東海	早																				
			普																				
		近畿・中国	早																				
			普																				
		四国	早																				
			普																				
		九州	早																				
			普																				

VII-1 初期一発処理剤 つづき

	処理法	地域名	作期	ベI	一年広葉マバI	ナバI	ウバI	ミバI	ハバI	カバI	ヒバI	落葉表層剥離		処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-1 10. KH 粒 -2550 II-6-(2) 7 併用	土壌処理	北海道												+3~ベI 1.5L	300 g/a						(28) (34) (38)
		東北																			
		北陸		●1.5	●	●2	●2	●2	●2	●始		●前				●	●	●	●	2	
		関東・東山・東海	早	●1.5	●	●始	●始	●始								●	●	●	●		
			普	●1.5	●	●始	●始	●始				●前				●	●	●	●		
		近畿・中国	早	●1.5	●	●始	●始	●2									●	●	●	1	
			普	●1.5	●	●始	●始	●2									●	●	●		
		四国	早	●1.5	●	●始	●始	●2									●	●	●		
			普	●1.5	●	●始	●始	●2									●	●	●		
		九州	早	●1.5	●	●2	●2	●2								●	●	●	●		
			普	●1.5	●	●2	●2	●2									●	●	●		

	処理法	地域名	作期	ベI	一年 広葉 マバI	ナバI	ウバI	ミバI マバI	ハバI マバI	カバI	ヒバI マバI	落類 表層 剥離		処理時期	使用量・ 製品	砂 壌土	壤 土	埴 土	埴 土	減水深 cm/d	使用上 の注意
Ⅶ-1 11. KUH-883 粒 Ⅱ-6-(1) 11 Ⅱ-6-(2) 8 Ⅱ-6-(7) 5 併用	土 壌 処 理	北海道		○2	○	○2	○2		○2			○発生	○始	+3~ベI 2 L *ウバI 始~本葉 展開期	300 g/a	1.5	○	○	○	2	(28) (38) (42) (44)
		東北		○2	○●ウバI *ウバI	○2	○2	○2	○2	○始	○始	○期	○前			○始	○	○	○		
		北陸																			
		関東・東山・東海	早																		
			普																		
		近畿・中国	早																		
			普																		
		四国	早																		
			普																		
		九州	早																		
			普																		

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する（東北）
オモタカに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する（東北）

	処理法	地域名	作期	ベ1	一年広葉マバ1	ナバ1	ウバ1	ミバ1	ハバ1	カバ1	ヒバ1	落葉表層剥離		処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意	
Ⅶ- 1 12. KUH-883 -1kg 粒	土壌処理	北海道		●2	●	●2	●2		●2			●前	●前	●前 ●前	300 g/a	1.5	●	●	●	●	2	(28) (38) (42)
		東北		●2	●	●2	●2	●2	●2	●前	●始	●期	●前	●始		●始	●	●	●	●		
		北陸																				
		関東・東山・東海	早																			
			普																			
		近畿・中国	早																			
			普																			
		四国	早																			
			普																			
		九州	早																			
			普																			

	処理 方法	地域名	作 期	元1	一年 広葉 マツ	オウイ	ウカ	ミカ ツ	ウカ ツ	ウカ イ	モカ ツ	ヒカ ツ	藻類 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壤 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意
VII-1 13. KUH -8830	土 壌 処 理	北海道		●2	●	●2	●2		●2			●発 土 期	●前	●再 生 期	+5~+12L	300 g/a	1.5	●	●	●	2	(26) (34) (36) (38) (41) (42)
粒		東北		●2	●	●2	●2	●2					●前	●生 期			●	●	●			
II-6-(1) 12		北陸		○2	○	○2	○2	○2	○2		○始	○	○前	○始			○	○	○	○		
II-6-(2) 9		関東	早	○2	○	○2	○2	○2				○生 期	○前	○			○	○	○	○		
II-6-(3) 1		・東山	普	○2	○	○2	○2	○2		●始	○始	○	○前	○生 期		10	○	○	○	○		
II-6-(8) 3 併用		・東海	早	○2	○	○2	○2	○2				○生 期	○前	○再 生 期			○	○	○	○		
		近畿	早	○2	○	○2	○2	○2		●始		○生 期	○前	○再 生 期			○	○	○	○	1	
		・中国	普	○2	○	○2	○2	○2				○生 期	○前	○			○	○	○	○	2	
		・四国	早	○2	○	○2	○2	○2				○生 期	○前	○再 生 期			○	○	○	○	1	
			普	○2	○	○2	○2	○2		●始		○生 期	○前	○再 生 期			○	○	○	○	2	
		九州	早	○2	○	○2	○2	○始			●前	○生 期	○前	○再 生 期	10ヶ 月か ○前 1 ヶ 月か ○始		○	○	○	○	1	
			普	○2	○	○2	○2	○始		●始		○生 期	○前	●	10ヶ 月か ○始	+3~+12 L	○	○	○	○	1.5	

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する（関東・東山・東海）
オモタカに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する（北陸・関東・東山・東海、九州）

	処理法	地域名	作 年	一年 広葉 マツ	オシ ノ	ミナ ツ	ハナ ツ	カ ツ	カ ツ	ヒメ ツ	落葉 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壤 土	壤 土	埴 土	埴 土	流水 深 cm/d	使用 の注			
Ⅶ-1 14. KUH -8830 -1kg 粒	土壌処理	北海道											+5~ 1 2L	100 g/a					2	(26) (34) (38) (41)			
		東北																					
		北陸	●2	●	●2	●2	●2	●2		●始	●発生期	●前 生 期 始				●	●	●			●		
		関東 ・東山 ・東海	早	●2	●	●2	●2	●2											●		●	●	
			普	●2	●	●2	●2	●2							●前				●		●	●	
		近畿 ・中国	早																				
			普	●2	●	●2	●2	●2													●	●	●
		四国	早																				
			普	●2	●	●2	●2	●2														●	●
		九州	早																				
普	●2		●	●2	●2	●始					●発生期	●前			●	●	●	●	2				

[illegible]

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する（東北・関東・東山・東海）
オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する（東北・関東・東山・東海）
コウキヤガラに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する（東北）

Ⅶ-1 初期一発処理剤 つづき

	処理法	地域名	作期	元I	一年広葉マコイ	オコイ	ウカ	ミカ	ハカ	カカ	ヒムシ	落類表層剥離	切	1割	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	壤土	壤土	減水深 cm/d	使用上の注意	
Ⅶ-1 16. NC -311CG 粒	土壌処理	北海道		●1.5	●	●2	●2		●2		●	●前	●再	●始	+5 ~ 元11.5L	100 g/a	1.5	●	●	●	●	2	(26) (28) (38) (40) (42)
		東北		●1.5	●	●2	●2	●2	●2	●始	●始		●発生期	●再	●始			●	●	●	●		
		北陸		●2	●	●2	●2	●2	●2			●		●再	●始		+5 ~ 元12L	●	●	●	●		
		関東・東山・東海	早	●2	●	●2	●2	●2												●	●	1.5	
			普	●2	●	●2		●2					●発生前						●	●	●	2	
		近畿・中国	早											●発生前									
			普																				
		四国	早																				
			普																				
		九州	早																				
			普																				

	処理法	地域名	作期	元I	一年 広葉 マコイ	オコイ	ウカ	ミカ マコイ	ハカ マコイ	カカ イ	カカ	ヒムシ 0	落類 表層 剥離		処理時期	使用量・ 製品	砂 壤土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意				
Ⅶ-1 17. NC -311CGO 粒 Ⅱ-6-(1) 14 併用	土壌 処理	北海道													g/a											
		東北																								
		北陸																								
		関東 ・東山 ・東海	早													+3~元11.5L	300									
		普																								
		近畿 ・中国	早	○1.5	○	○始	○始	○2		○2	○発生	●前	○切							1	○	○		○	1	(26) (34) (38) (41) (42)
		普	○1.5	○	○2	○2	○2		○始	○始	○期	○前	○再						1	○	○	○		○	2	
		早	○1.5	○	○始	○始	○2		○2	○発生	●前	○前	○再							1	○	○		○	1	
		四国	普	○1.5	○	○2	○2	○2		○始	○始	○期	○前	○始						1	○	○		○	○	
		九州	早	●1.5	●	●2	●2	●2		○始	○始	○期	○前	●				●	●	●	●	1				
		普	○1.5	○	○2	○2	○2		○始	○始	○期	○前	○					●	●	○	○	1.5				

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する（近畿・中国・四国・九州）
オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する（近畿・中国・四国・九州）

	処理法	地域名	作期	元I	一年広葉マコイ	オコイ	ウカ	ミカ	ハカ	カカ	カカ	ヒムシ	落類表層剥離	切	1割	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	壤土	壤土	減水深 cm/d	使用上の注意
Ⅶ-1 18. NC -311CGO 粒	土壌処理	北海道																					
		東北																					
		北陸																					
		関東・東山・東海	早																				
			普																				
		近畿・中国	早																				
			普	●1.5	●	●始	●始	●2				●前	●前	●再	●始	+3 ~ 元11.5L	100 g/a	●	●	●	●	1	
		四国	早																				
			普	●1.5	●	●始	●始	●2				●前	●前	●再	●始			●	●	●	●		
		九州	早																				
			普																				

	処理 方法	地域名	作 期	元1 一年 広葉 マハバ	ホウ イ	クサ イ	ミズ カキ ツメ	アサ ガ コ	カ ナ ダ イ	ト モ ロ シ	ヒル ム シ	藻類 剥離	刈 り	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意	
VII-1 19. NC -311HW 粒 (旧 NC-311H)	土壤 処理	北海道		●2	●	●2	●2		●2			●発生 期	●前 期	+5 ~ ㊦12L	300 g/a		●	●	●	2	(28) (34)
		東北		●1.5	●	●2	●2	●2	●2				●前 期	+5~㊦11.5L			●	●			
		北陸		●2	●	●2	●2	●2					始	+5 ~ ㊦12L			●	●			
		関東 ・東山 ・東海	早																		
			普	●2	●	●2	●2	●2				●発生 期	●再 生 前 期			●	●	●	●		
		近畿 ・中国	早																	1	
			普	●2	●	●2	●始	●2				●発生 期	始			●	●	●	●		
		四国	早									●発生 期				●	●	●	●		
			普	●2	●	●2	●始	●2				●発生 期				●	●	●	●		
		九州	早																		
			普	●2	●	●2	●2	●2								●	●	●	●		

	処理方法	地域名	作期	元1	一年広葉マツ	アカイ	ウグ	ミズナリ	ヘナリ	知ウイ	桂ウ	ヒムシロ	落葉層剥離		処理時期	使用量・製品	砂壤土	壤土	埴壤土	減水深 cm/d	使用上の注意			
Ⅶ-1 20. NCM-72 粒	土壌処理	北海道		○1.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○発生前	○サ	○*	+3~+11.5L	1.50 300 g/a	○	○	○	2	(34) (38) (40) (41) (42) (3) (26)		
		東北		○1.5	○	○始	○始	○始	○始	○始	○始	○始	○期	○発生前	○再生前	○サ 2~3cm			○	○	○			
		北陸		○1.5	○	○始	○始	○始	○始	○始		○始			○再生前			*1/2リットル発生始 ~2L		○	○		○	
		関東・東山・東海	早	○1.5	○	○2	○2	○2					○発生期	○発生前	○始				○	○	○		○	
			普	○1.5	○	○2	○2	○2	○始	○始	○始	○期	○前	○					○	○	○		○	
		近畿・中国	早	○1.5	○	○2	○2	○2					○発生期		○					○	○		○	1
			普	○1.5	○	○2	○2	○2				○2	○期		○再生前				○	○	○		○	1.5
		四国	早	○1.5	○	○2	○2	○2					○発生期		○再生前					○	○		○	1
			普	○1.5	○	○2	○2	○2				○2	○期		○始				○	○	○		○	1.5
		九州	早	○1.5	○	○2	○2	○2					○発生期		○				○	○	○		○	
			普	○1.5	○	○2	○2	○2				○始	○期		○					●	○		○	

	処理法	地域名	作 期	1年 広葉 マ刈	雑草イ	刈草 刈	ミカサ 刈	ヘチ 効	刈草 イ	雑草 効	ヒル 日	高層 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壤土 1.5	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意	
VII-1 21. NJM-754 粒	土壌処理	北海道	O1.5	O	O2	O2		O2			O発生 期	O発生 前		+3~#11.5L	300 g/a	●	○	○	○	2	(34) (42)	
		東北	O1.5	O	O始	O始	O始	O始								●	○	○	○			
		北陸	O2	O	O2	O2	O2	O始							+3~#12		●	○	○	○		
		関東 ・東山 ・東海	早 O2	O	O2	O2	●始									1.50	○	○	○	○	2	
			昔 O2	O	O2	O2	O2		●始								○	○	○	○	2	
		近畿 ・中国	早 O1.5	O	O2	O2	O2					O発生 期			+3~#11.5L			○	○	○	○	1
			昔 O2	O	O2	O2	O2		●始			O発生 期			+3~#12			○	○	○	○	
		四国	早 O1.5	O	O2	O2	O2					O発生 期			+3~#11.5L			○	○	○	○	
		昔 O2	O	O2	O2	O2		●始			O発生 期			+3~#12			○	○	○	○		
	九州	早 O1.5	O	O2	O2	O2					O発生 期			+3~#11.5L			○	○	○	○		
		昔 O2	O	O2	O2	O2					O発生 期			+3~#12			○	○	○	○	1.5	

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する（関東・東山・東海）

[illegible]

23. NSK-850D-1 kg 粒 「 $\frac{1}{2}$ 」

	処理方法	地域名	作期	1年 広葉マサキ	ネリイ	刈切	ミナリ	ヘタリ	刈りイ	残草	ビロシ	落葉層剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	植土	減水深 cm/d	使用上の注意
VII-1 24. NSK -850DQ	土壌処理	北海道																	
		東北																	
		北陸	○ <u>2</u>	○	○ <u>2</u>	○ <u>2</u>	○ <u>2</u>	○ <u>2</u>				●前	+5~ <u>7E</u> 2 L	300 g/a	●	○	○	2	(28) (34)
		関東・東山・東海	早 ● <u>2</u>	●	● <u>2</u>	● <u>2</u>	● <u>2</u>					○前	+5~ <u>7E</u> 2 L		●	●	●		
			普 ○ <u>2</u>	○	○ <u>2</u>	○ <u>2</u>	○ <u>2</u>				○	○前			○	○	○		
		近畿・中国	早 ● <u>2</u>	●	● <u>2</u>	● <u>2</u>	● <u>2</u>				●発生期	○前	+5~ <u>7E</u> 2 L			●	●	1	
			普 ○ <u>2</u>	○	○ <u>2</u>	○ <u>2</u>	○ <u>2</u>				○	○前			○	○	○		
		四国	早 ● <u>2</u>	●	● <u>2</u>	● <u>2</u>	● <u>2</u>				●	●始				●	●		
			普 ○ <u>2</u>	○	○ <u>2</u>	○ <u>2</u>	○ <u>2</u>				○	○前			○	○	○		
		九州	早								○発生期	○前							
			普 ○ <u>2</u>	○	○ <u>2</u>	○ <u>2</u>	○ <u>2</u>				○					○	○		

VII-1
25. NSK-850D-1kg 粒 「继」

26. NSK-855 フロアブル 「継」

27. NSK-855[®] フロアブル 「継」

28. NSK-8550 フロアブル 「継」

[illegible]

Ⅶ-1 初期一発処理剤 つづき

	処理法	地域名	作期	1L	一年広葉マツバ	オシロイ	ウチワ	ミカヅ	ハサキ	カサキ	ササキ	ヒメ	落葉層剥離		処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
Ⅶ-1 30. SL-970 フロアブル	土壌処理	北海道		●1.5	●	●2	●2		●2			●発生期			+3 ~ 1L 1.5L	100 ml/a	●	●	●	●	2	(33) (34)
		東北		●1.5	●	●2	●2	●2										●	●	●		
		北陸		●2	●	●2	●2	●2	●2						+3 ~ 1L 2L	80 ~100 ml/a		●	●	●	1	
		関東・東山・東海	早	●2	●	●2												●	●	●		
			普	●2	●	●2		●2										●	●	●		
		近畿・中国	早																			
			普	●2	●	●2	●2	●2									●	●	●	●		
		四国	早																			
			普	●2	●	●2	●2	●2									●	●	●	●		
		九州	早																			
			普	●2	●	●2	●2	●2									100 ml/a					

	処理法	地域名	作期	1L	一年広葉マツバ	オシロイ	ウチワ	ミカヅ	ハサキ	カサキ	ササキ	ヒメ	落葉層剥離	セリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
Ⅶ-1 31. SW-907 粒	土壌処理	北海道											●前		+3 ~ 1L 2L	300 g/a		●	●	●	2	(3) (26)
		東北		●2	●	●2	●2	●2	●2									●	●	●		
		北陸		●2	●	●2	●2	●2										●	●	●		
		関東・東山・東海	早																			
			普	●2	●	●2	●2	●2					●前						●	●		
		近畿・中国	早	●2	●	●2	●2	●2				●発生期	●前	●前				●	●	●	1	
			普	●2	●	●2	●2	●2					●前	●前				●	●	●	1.5	
		四国	早	●2	●	●2	●2	●2				●発生期	●前	●前				●	●	●	1	
			普	●2	●	●2	●2	●2					●前					●	●	●	1.5	
		九州	早																		1	
			普	●2	●	●2	●2	●2				●発生期	●前				●	●	●	●		

	処理法	地域名	作期	1L	一年広葉マツバ	オシロイ	ウチワ	ミカヅ	ハサキ	カサキ	ササキ	ヒメ	落葉層剥離		処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
Ⅶ-1 32. SW-907⑨ 粒 Ⅱ-6-(6) 9 併用	土壌処理	北海道		●2	●	●2	●2		●2			●発生期	●前	1割 ●始 2L	+5 ~ 1L 2L	300 g/a		●	●	●	2	
		東北										●発生期										
		北陸																				
		関東・東山・東海	早																			
			普																			
		近畿・中国	早																			
			普																			
		四国	早																			
			普																			
		九州	早																			
			普																			

VII-1 初期一発処理剤 つづき

VII-1 33. TDH-888⑥	フロアブル	「継」
VII-1 34. TDH-888	フロアブル	「継」
VII-1 35. TDH-888Q	フロアブル	「継」
VII-1 36. TH-913ADS	粒	「継」
VII-1 37. TH-913ADS②	粒	「継」
VII-1 38. TH-913ST	フロアブル	「継」

	処理 法	地域名	作 期	元I	一年 広葉 マリン	オキイ	カカ ツ	ミカ ツ	ハラ ツ	カク イ	カク ツ	ヒム ロ	藻類 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意
VII-1 39. TSM-612 フロアブル	土 壌 処 理	北海道		○1.5	○	○始	○始		○始			○	発 生 期		+0~元I1.5L (+0M100ml0株)	ml/a 100~ 120	●	○	○	○	2	(33) (34) (3)
		東北		○1.5	○	○始	○始	○始	○始			○	生 期				○	○	○	○		田植同時 散布可 (全株)
		北陸		○1.5	○	○始	○始	○始	○始			○					○	○	○	○		
		関東 ・東山 ・東海	早	○1.5	○	○2	○2	○始				○			+0~元I1.5L	80~ 100	○	○	○	○		
			普	○1.5	○	○2	○2	○始				○	発 生 期				○	○	○	○		
		近畿 ・中国	早	○1.5	○	○始	○2	○2				○			+0~元I1.5L	80~ 100	○	○	○	○	1	
			普	○1.5	○	○2	○2					○			+0~元I1.5L		○	○	○	○	2	
		四国	早	○1.5	○	○始	○2	○2				○	発 生 期		+0~元I1.5L		○	○	○	○	1	
			普	○1.5	○	○2	○2	○2				○	期		+0~元I1.5L		○	○	○	○	2	
		九州	早	○1.5	○	○2	○2	○2				○	発 生 期		+0~元I1.5L		○	○	○	○	1.5	
			普	○1.5	○	○2	○2	○2				○					○	○	○	○		

	処理 法	地域名	作 期	元I	一年 広葉 マリン	オキイ	カカ ツ	ミカ ツ	ハラ ツ	カク イ	カク ツ	ヒム ロ	藻類 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意
VII-1 40. DPX-84M 粒 (旧:HOK-917C)	土 壌 処 理	北海道		○2	○	○2	○2	○2	○2			○	前 生 期	○前 再生 前 始	+7~元I2L	1.5	○	○	○	○	2	(28)
		東北		○2	○	○2	○2	○2	○2			○	生 期	○前 前 始	*15/サカサ 1~4L 草丈20cm以下	300 g/a	○	○	○	○		
		北陸		○2	○	○2	○2	○2	○2			○	前 生 期	○前 前 始			○	○	○	○		
		関東 ・東山 ・東海	早												+5~元I2L		○	○	○	○		
			普	○2	○	○2	○2	○2									○	○	○	○		
		近畿 ・中国	早																			
			普																			
		四国	早																			
			普																			
		九州	早																			
			普																			

VII-1
41. DPX-84M② 粒 (旧:HOK-917D) VII-1. 6に統合VII-1
追加. DM-72 粒 II-6-(1) 2 参照

Ⅶ-2 初・中期一発処理剤

Ⅶ-2
1. DJL-367 粒

「継」

処理法	地域名	作期	ベ1	一年 広葉 マリン	初刈	刈初	ミミ 刈	ハミ 効	刈初 イ	刈効	ヒム 0	落類 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壤 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意
Ⅶ-2 2. DPX-84T 粒	北海道		●2.5	●	●2	●2		●2			●始	●前	●*	+5~+20(ベ12.5L)	100 g/a	●	●	●	●	2	(26) (28) (36) (38) (42)
	東北		●2.5	●	●2	●2	●2	●2	●始	●始	●発生 期	●始	●再生 前 始	+5~+12.5L			●	●			
	北陸													* I/サマ効 始~2L							
	関東 ・東山 ・東海	早												** I/サマ効 発生始~盛							
		普																			
	近畿 ・中国	早																			
		普																			
	四国	早																			
		普																			
	九州	早																			
		普																			

処理法	地域名	作期	ベ1	一年 広葉 マリン	初刈	刈初	ミミ 刈	ハミ 効	刈初 イ	刈効	ヒム 0	落類 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壤 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意
Ⅶ-2 3. DPX-84TDQ 粒	北海道													+5 ~ +12.5L	100 g/a						(26) (34) (38) (41)
	東北																				
	北陸		●2.5	●	●2	●2	●2	●2		●始	●発生 期	●前	刈一 ●再生 前 始			●	●	●	●	2	
	関東 ・東山 ・東海	早	●2.5	●	●2								●再生 前 始				●	●	●	1.5	
		普	●2.5	●	●2								●本 意 度 開 期					●	●		
	近畿 ・中国	早	●2.5	●	●2	●2	●2					●前					●	●	●	1	
		普	●2.5	●	●2	●2	●2					●前	●				●	●	●	1.5	
	四国	早	●2.5	●	●2	●2	●2					●前					●	●	●	1	
		普	●2.5	●	●2	●2	●2					●前	●				●	●	●	1.5	
	九州	早																			
		普																			

処理法	地域名	作期	ベ1	一年 広葉 マリン	初刈	刈初	ミミ 刈	ハミ 効	刈初 イ	刈効	ヒム 0	落類 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壤 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意
Ⅶ-2 4. DPX-84SC 粒	北海道		○2.5	○	○2	○2		○2			○発生 期	○始	○* I/サマ効	+10~+20(ベ12.5L)	300 g/a	○	○	○	○	2	(28) (36) (42)
	東北		○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○始		○期	○始	○刈 再生 前~始	+5~+12.5L			○	○	○		
	北陸													* I/サマ効 1~4L 20cm 以下							
	関東 ・東山 ・東海	早												** I/サマ効 発生始~							
		普							() ○始									○	○	1)	
	近畿 ・中国	早																			
		普																			
	四国	早																			
		普																			
	九州	早																			
		普																			

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北・関東・東海・東山)
コウキヤガラに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北)

Ⅶ-2
5. MY-910 粒

「継」

Ⅶ-2
6. MY-911⊕ 粒

「継」

VII-2 初・中期一発処理剤 つづき

VII-2
7.MY-911 粒

「継」

	処理法	地域名	作期	ベ1	一年 広葉 マツ	ナリ	ナカ	ミナ ナリ	ハナ ナリ	知刀イ	ナカ	ヒナ ナリ	落葉 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意	
Ⅶ-2 8.NC-311R 粒 Ⅱ-6-(1) 16 Ⅱ-6-(2) 11 Ⅱ-6-(7) 7 Ⅱ-6-(8) 6 併用	茎葉兼土壌処理	北海道		○2	○	○2	○2		○2			○発生 期	○ナリ 前	○*	+10~+20(ベ12L)	300 g/a	○	○	○	2	(28) (34) (36) (38) (40) (42) (44)	
		東北		○2.5	○	○2	○2	○2	○2	●始	○始	○期	○ナリ 前	○再生 始	○**	+7~+12.5L		○	○	○		
		北陸		○2.5	○	○2	○2	○2	○2		●前	○	○発生 期		○ナリ 前	*1/2ナリ 発生始 **1/4 発生前~始		○	○	○		
		関東・東山・東海	早										○発生 期		○ナリ 始							
		普	○2.5	○	○2	○2	○2			○始	○始	○		○	○本 葉展 開期			○	○	○		
		近畿・中国	早														+5~+12.5L		○	○	○	1
		普	○2.5	○	○2	○2	○2			○始	●始							○	○	○		
		四国	早								○始	●始						○	○	○		
		普	○2.5	○	○2	○2	○2			○始	●始							○	○	○		
		九州	早	●2.5	●	●2	●2	●2					●発生 期		○ナリ 始	始~2L		●	●	●	●	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2			○始	●前	○期							○	○	1.5	

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北・関東~九州)

オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北・北陸・関東・東山・東海・近・中・四国・九州)

	処理法	地域名	作期	ベ1	一年 広葉 マツ	ナリ	ナカ	ミナ ナリ	ハナ ナリ	知ウ イ	ナカ ナリ	ヒナ ナリ	落葉 表層 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意	
Ⅶ-2 9.NC-311 SCQ 粒 Ⅱ-6-(1) 17 Ⅱ-6-(2) 12 Ⅱ-6-(5) 5 Ⅱ-6-(6) 4 Ⅱ-6-(7) 8 Ⅱ-6-(8) 7 併用	茎葉兼土 壌処理	北海道		●2.5	●	●2	●2		●2			●発生 期	●前 期	Ⅰ-Ⅲ +10~+20(ベ12.5L)	300 g/a	●	●	●	2	(34) (36) (38) (40) (41) (42) (44)	
		東北		●2.5	●	●	●2	●2	●2	●2	●始		●前 期	●再 生 前 始	+5~+12.5L		●	●	●		
		北陸		○2.5	○	○	○2	○2	○2				●前 期	●			○	○	○		
		関東・東山・東海	早	●2.5	●	●2	●2	●2	●2				●発生 期	●再 生 前 始			●	●	●		
		普		○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○期	○前 期	○		●1	○	○	○	
		近畿・中国	早	●2.5	●	●2	●2	●2	●2				●発生 期	●再 生 前 始	*ナリ 始~本葉 展開期 (東北、北陸)		○	○	○	1	
		普		○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○期	○前 期	○		○	○	○	1.5	
		四国	早	●2.5	●	●2	●2	●2	●2				●発生 期	●再 生 前 始			○	○	○	1	
		普		○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○期	○前 期	○		○	○	○	1.5	
		九州	早	●2.5	●	●2	●2	●2	●2				●発生 期	●再 生 前 始	Ⅲナリ 始		○	○	○	1.5	
		普		○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○期	○			●	○	○		

		処理法	地域名	作期	ベ1	一年 広葉 マツ	ナリ	ナカ	ミナ ナリ	ハナ ナリ	ナカ イ	ナカ ナリ	ヒナ ナリ	落葉 表層 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意	
VII-2 10. NC-311 SCQ -1kg 粒	茎葉兼土壌処理	北海道	●2.5	●	●2	●2	●2	●2	●2	●2	●2	●2	●2	●2	●2	+10~+20(ベ12.5L)	100 g/a	●	●	●	2	(34) (41)
		東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●2	●2	●2	●2	●2	●2	●2	●2	+5~+12.5L		●	●	●		
		北陸	●2.5	●	●2	●2	●2	●2	●2	●2	●2	●2	●2	●2	●2			●	●	●		
		関東・東山・東海	早																			
		普																				
		近畿・中国	早																			
		普																				
		四国	早																			
		普																				
		九州	早																			
		普																				

Ⅶ-2 初・中期一発処理剤 つづき

処理法	地域名	作期	ベ1	一年 広葉 マバ	ササ イ	ワカ ツ	ミカ ツ	ハサ ツ	カ ツ	サ ツ	ヒ ツ	落葉 表層 剥離	切 リ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意
Ⅶ-2 11. NC-311T 粒 Ⅱ-6-(1) 18 Ⅱ-6-(7) 9 併用	聖 業 兼 土 壌 処 理	北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生	○前 シイ	○再 シイ	+10~20(ベ12.5L)	300 g/a	○	○	○	2	(26) (34) (36) (38) (40) (41) (42) (44)
		東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○始	○始	○発生	○前 シイ	○再 シイ	+5~12.5L *12.5L 発生始~2L		○	○	○		
		北陸	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○2-3cm 前 シ	○再 シ	*** 12.5L 発生始		○	○	○		
		関東 ・東山 ・東海	早 ○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前 シ	○再 シ	展開期 *** 12.5L 発生始		○	○	○		
		普	○2.5	○	○2	○2	○2		○始	○始	○発生	○前 シ	○再 シ			○	○	○		
		近畿 ・中国	早 ○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前 シ	○再 シ			○	○	○	1	
		普	○3	○	○2	○2	○2	○始	○始	○2	○発生	○前 シ	○再 シ	+5~12.5L		○	○	○	1.5	
		四国	早 ○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前 シ	○再 シ	+5~12.5L		○	○	○	1	
		普	○3	○	○2	○2	○2	○始	○始	○2	○発生	○前 シ	○再 シ	+5~12.5L		○	○	○	1.5	
		九州	早 ○3	○	○2	○2	○2		○始		○発生	○前 シ	○再 シ	+5~12.5L		○	○	○		
		普	○3	○	○2	○2	○2		○始	○始	○発生	○前 シ	○再 シ	+5~12.5L		○	○	○		

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北・関東~九州)

処理法	地域名	作期	ベ1	一年 広葉 マバ	ササ イ	ワカ ツ	ミカ ツ	ハサ ツ	カ ツ	サ ツ	ヒ ツ	落葉 表層 剥離	切 リ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意
Ⅶ-2 12. NC-311T -1kg 粒	聖 業 兼 土 壌 処 理	北海道	●2.5	●	●2	●2		●2			●発生	●前 シイ	●再 シイ	+10~+20 (ベ12.5L)	100 g/a	●	●	●	2	(26) (34) (36) (38) (40) (41) (42)
		東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●2	●始	●始	●発生	●前 シイ	●再 シイ	*** 12.5L 発生始		●	●	●		
		北陸	●2.5	●	●2	●2	●2	●2					●再 シ			●	●	●		
		関東 ・東山 ・東海	早 ●2.5	●	●2	●2						●発生	●前 シ	+5 ~ 12.5L		●	●	●		
		普	●2.5	●	●2	●2	●2					●発生	●前 シ	* 始~2L *** 始		●	●	●	1	
		近畿 ・中国	早 ●2.5	●	●2	●2	●2				●発生	●前 シ	●再 シ			●	●	●		
		普	●2.5	●	●2	●2	●2					●発生	●前 シ			●	●	●		
		四国	早 ●2.5	●	●2	●2	●2				●発生	●前 シ	●再 シ			●	●	●		
		普	●2.5	●	●2	●2	●2					●発生	●前 シ			●	●	●		
		九州	早 ●																	
		普																		

処理法	地域名	作期	ベ1	一年 広葉 マバ	ササ イ	ワカ ツ	ミカ ツ	ハサ ツ	カ ツ	サ ツ	ヒ ツ	落葉 表層 剥離	切 リ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意
Ⅶ-2 13. NC-326 粒	聖 業 兼 土 壌 処 理	北海道													300 g/a					(28) (34)
		東北																		
		北陸																		
		関東 ・東山 ・東海	早 ●2.5	●	●2	●2	●2					●発生	●再 シ	+5 ~ 12.5L		●	●	●	2	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2					●発生	●再 シ			●	○	○		
		近畿 ・中国	早 ●2.5	●	●2	●2	●2				●発生	●前 シ	●再 シ				●	●	1	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2					●発生	●前 シ				○	○		
		四国	早 ●2.5	●	●2	●2	●2				●発生	●前 シ	●再 シ				●	●		
		普	○2.5	○	○2	○2	○2					●発生	●前 シ				○	○		
		九州	早 ●2.5	●	●2	●2	●2				●発生					●	●	●		
		普	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生						●	●		

VII-2 初・中期一発処理剤 つづき

	処理法	地域名	作期	ベ1	一年広葉マリン	オリーブ	ウチ	ミカド	ハナ	カク	カク	ヒム	落葉表層剥離		処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
VII-2 14. NC-3260 粒	茎葉兼土壌処理	北海道													+5 ~ +12.5L	300 g/a						
		東北																				
		北陸																				
		関東・東山・東海	早																		2	(28)
			普	●2.5	●	●2	●始	●2									●	●	●	●		(34)
		近畿・中国	早	●2.5	●	●始	●2	●2				●	●前	●再			●	●	●	●	1	
			普	●2.5	●	●2	●2	●2				●	●前	●生			●	●	●	●		
		四国	早	●2.5	●	●始	●2	●2				●	●前	●始			●	●	●	●		
			普	●2.5	●	●2	●2	●2									●	●	●	●		
		九州	早	●2.5	●	●2	●2	●2				●	●生							●		
			普	●2.5	●	●2	●2	●2				●	●期				●	●	●	●	1.5	

	処理法	地域名	作期	ベ1	一年広葉マリン	オリーブ	ウチ	ミカド	ハナ	カク	カク	ヒム	落葉表層剥離		処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
VII-2 15. NC-329 粒 II-6-(1) 20 II-6-(2) 14 II-6-(5) 7 II-6-(6) 6 併用	茎葉兼土壌処理	北海道												トサリ ●始-2L	+5 ~ +12.5L	300 g/a						
		東北		●2.5	●	●2		●2	●2	●始	●前		●前	●始			●	●	●	●	2	(28)
		北陸		●2.5	●	●2		●2	●2		●前		●前				●	●	●	●		(34)
		関東・東山・東海	早	●2.5	●	●2	●2	●2									●	●	●	●		(40)
			普	●2.5	●	●2	●2	●2						●前			●	●	●	●		(42)
		近畿・中国	早	●2.5	●	●2	●2	●2					●前	●始			●	●	●	●	1	
			普	●2	●	●2	●2	●2					●前				●	●	●	●		
		四国	早	●2.5	●	●2	●2	●2					●前				●	●	●	●		
			普	●2	●	●2	●2	●2					●前				●	●	●	●		
		九州	早	●2.5	●	●2	●2	●2				●	●生							●		
			普	●2.5	●	●2	●2	●2				●	●期				●	●	●	●	1.5	

VII-2
16. NC-329-1kg 粒 「継」VII-2
17. NCH-903-1kg 粒 「継」VII-2
18. TH-913ADSC 粒 「継」VII-2
19. TH-913SSC 粒 「継」VII-2
追加 DPX-84SCQ 粒 II-6-(1) 5 参照VII-2
追加 DPX-84T 粒 II-6-(7) 4 参照VII-2
追加 DPX-84TDQ 粒 II-6-(1) 7 参照

Ⅶ-3-(1) 長期持続型一発処理剤

	処理法	地域名	作期	元I	一年広葉マツ	杉	ウグ	ミナ	ハナ	カウ	ナ	ヒメ	落類表層剥離		処理時期	使用量・製品	砂土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
Ⅶ-3-(1) 1. DM-72 粒 Ⅱ-6-(1) 2 Ⅱ-6-(2) 1 Ⅱ-6-(5) 1 Ⅱ-6-(6) 1 併用	土壌処理	北海道		●1.5	●	●2	●2		●2			●発生期	●前	●再生前	+5~元1.5L	300 g/a	●1.5	●	●	●	2	(3) (26) (28) (38) (42)
		東北		●1.5	●	●2	●2			●始	●始			●再生前				●	●	●		
		北陸												●再生前								
		関東・東山・東海	早																			
			普																			
		近畿・中国	早																			
			普																			
		四国	早																			
			普																			
		九州	早																			
			普																			

	処理法	地域名	作期	元I	一年広葉マツ	杉	ウグ	ミナ	ハナ	カウ	ナ	ヒメ	落類表層剥離		処理時期	使用量・製品	砂土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
Ⅶ-3-(1) 2. DM-72○ 粒	土壌処理	北海道													+5 ~ 元1.5L	300 g/a						(3) (26) (28)
		東北																				
		北陸		●1.5	●	●2	●2	●2	●2				●前	●再生前			●	●	●	●	2	
		関東・東山・東海	早																			
			普																			
		近畿・中国	早																			
			普																			
		四国	早																			
			普																			
		九州	早																			
			普																			

	処理法	地域名	作期	元I	一年広葉マツ	杉	ウグ	ミナ	ハナ	カウ	ナ	ヒメ	落類表層剥離		処理時期	使用量・製品	砂土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
Ⅶ-3-(1) 3. NC-326 粒 Ⅱ-6-(1) 19 Ⅱ-6-(2) 13 Ⅱ-6-(5) 6 Ⅱ-6-(6) 5 併用	茎葉兼土壌処理	北海道		○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○前	○再生前	+10~+20 (元1.2.5L)	300 g/a	●1.5	○	○	○	2	(28) (38) (40) (42)
		東北		○2.5	○	○2	○2	○2	○2	●始	●前	○期	○前	○始	+5 ~ 元1.2.5L			○	○	○		
		北陸		○2.5	○	○2	○2	○2		●前				○始				○	○	○		
		関東・東山・東海	早																			
			普																			
		近畿・中国	早																			
			普																			
		四国	早																			
			普																			
		九州	早																			
			普																			

Ⅶ-3-(1) 長期持続型一発処理剤 つづき

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マカバ	オキイ	ウカ	ミカバ ツ	ハカバ ツ	カカ イ	カカ ツ	ヒムシ 口	落類 表層 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意	
Ⅶ-3-(1) 4. NH-728 粒 Ⅱ-6-(1) 21 Ⅱ-6-(2) 15 併用	茎葉兼土壌処理	北海道		○2.5	○	○2	○2		○2		●発生	●前	●再生	+10~+20 (ノ12.5L)	300 g/a		○	○	○	2	(28) (38) (42)	
		東北		○2.5	○	○2	○2	○2	○2	●始	●始	○期	●前	○前 始		+5~ノ12.5L		○	○	○		
		北陸																				
		関東・ 東山・ 東海	早																			
			普																			
		近畿・ 中国	早																			
			普																			
		四国	早																			
			普																			
		九州	早																			
			普																			

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツイ	オキイ	ウカ ツ	ミカ ツ	ハカ ツ	カカ イ	カカ ツ	ヒム シ	落類 表層 剥離	セリ 切	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意
Ⅶ-3-(1) 5. NH-728 -1kg 粒	茎葉兼土壌処理	北海道		●2.5	●	●2	●2		●2			●発生期	●前 ●再生期 ●前								

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツイ	オキイ	ウカ ツ	ミカ ツ	ハカ ツ	カカ イ	カカ ツ	ヒム シ	落類 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用 の注	
Ⅶ-3-(1) 6. NH-728Q 粒	茎葉兼土壌処理	北海道												+5 ~ ノ12.5L	300 g/a						2	
		東北																				
		北陸		●2.5	●	●2	●2	●2	●2								●	●	●			
		関東・ 東山・ 東海	早	●2.5	●	●2		●2									●	●	●	1		
			普	●2.5	●	●2	●2	●始					●前			●前 始		●	●	●		2
		近畿・ 中国	早	●2.5	●	●2	●2	●2					●前			●前 始		●	●	●		1
			普	●2.5	●	●2	●2	●2					●前					●	●	●		
		四国	早	●2.5	●	●2	●2	●2					●前			●		●	●	●		
			普	●2.5	●	●2	●2	●2					●前					●	●	●		
		九州	早																			
			普																			

Ⅶ-3-(1)
7. NH-728Q-1kg 粒 「継」Ⅶ-3-(1)
8. NH-9107 粒 「継」Ⅶ-3-(1)
9. NH-9108 粒 「継」Ⅶ-3-(1)
10. NH-9109 粒 「継」

Ⅶ-3-(2) 一年生持続型除草剤

Ⅶ-3-(2)

1. CG-187 粒

「継」

	処理法	地域名	作期	元I	一年広葉マカ	オキイ	ウカ	ミカ判	ヘカ効	加カイ	モカ効	ヒカ効	藻類表層剥離		処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴壌土	減水深 cm/d	使用上の注意			
Ⅶ-3-(2) 2. CGM-15 粒	土壌処理	北海道		●1	●	●始			●始						+3 ~ 元11L	300 g/a		●	●	●	2			
		東北																						
		北陸																						
		関東・東山・東海	早	●1	●	●始														●	●		●	1
			普	●1	●	●始										+3 ~ 元11.5L			●	●	●			
		近畿・中国	早	●1.5	●	●始														●	●		●	
			普	●1.5	●	●始														●	●		●	
		四国	早	●1.5	●	●始														●	●		●	
			普	●1.5	●	●始													●	●	●			
		九州	早																					
			普	●1.5	●	●始													●	●	●		1.5	

	処理法	地域名	作期	元I	一年広葉マリン	おゆい	ウカ	ミカ	ヘカ	カカ	ヒカ	藻類表層剥離		処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴壌土	減水深 cm/d	使用上の注意	
Ⅶ-3-(2) 3. SUM-7.2 粒	土壌処理	北海道	●1	●	●始				●始					+3 ~ 元11L	300 g/a	1.5	●	●	●	2	(3) (26)
		東北	●1	●	●始											●	●	●			
		北陸	●1	●	●始											●	●	●			
		関東・東山・東海	早																		
			普																		
		近畿・中国	早																		
			普																		
		四国	早																		
			普																		
		九州	早																		
			普																		

Ⅶ-1 少量散布法

	処理法	地域名	作期	元I	一年広葉マリン	オキイ	ウカ	ミカ	ヘカ	カカ	カカ	ヒカ	藻類表層剥離		処理時期	使用量・製品	砂壌土1.5	壤土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意	
Ⅶ-1 1.DPX-84CG 粒	土壌処理	北海道		○2	○	○2	○2		○2			○再生期	○再生前		+5 ~ +15 (元1 2L)	300 g/a	○	○	○	2	* (28)	
		東北															○	○	○			
		北陸																				
		関東・東山・東海	早																			
			普																			
		近畿・中国	早																			
			普																			
		四国	早																			
			普																			
		九州	早																			
			普																			

* 初期剤を前処理に少量散布することにより除草効果向上 (北海道)

Ⅷ-1 少量散布法 つづき

	処理法	地域名	作期	元I	一年広葉マツ	ナラ	ミナ	ハナ	カ	ヒ	落類表層剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
Ⅷ-1 2. KUH-883 粒 Ⅱ-6-(1) 11 Ⅱ-6-(2) 8 Ⅱ-6-(7) 5 併用	土壌処理	北海道										+5 ~ +20 (元I 2L)	300 g/a					2	* (28)
		東北		○2	○	○2	○2	○2			○発生期			○	○	○	○		
		北陸									○発生期								
		関東・東山・東海	早																
			普																
		近畿・中国	早																
			普																
		四国	早																
			普																
		九州	早																
			普																

* 初期刈を前処理に少量散布することにより除草効果向上 (東北)

	処理法	地域名	作期	元I	一年 広葉 マツ	ナラ	ミナ カ	ハナ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	カ カ	
--	-----	-----	----	----	----------------	----	---------	---------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--

* 初期刈を前処理に少量散布することにより除草効果向上 (北陸、関東～四国)

	処理法	地域名	作期	元I	一年広葉マツ	ナラ	ミナ	ハナ	カ	ヒ	落類表層剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
Ⅷ-1 4. NC-311CG 粒 Ⅱ-6-(1) 13 Ⅱ-6-(7) 6 Ⅱ-6-(8) 4 併用	土壌処理	北海道		○2	○	○2	○2	○2		○発生期	○再生前	+5 ~ +15 (元I 2L)	300 g/a		○	○	○	2	* (28) (26)
		東北		○2	○	○2	○2	○2		○発生期	○再生前			○	○	○	○		
		北陸		○2	○	○2	○2	○2		○発生期	○再生前			○	○	○	○		
		関東・東山・東海	早																
			普																
		近畿・中国	早																
			普																
		四国	早																
			普																
		九州	早																
			普																

* 初期刈を前処理に少量散布することにより除草効果向上 (北海道、東北、北陸)

Ⅶ-1 少量散布法 つづき

	処理 法	地域名	作 期	元 1	一年 広葉 マシイ	オシイ	カカ ツ	ミカ ツ	ハラ ツ	カカ イ	カカ ツ	ヒム ツ	落類 表層 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意
Ⅶ-1 5. SW-907 粒	土 壌 処 理	北海道												+5 ~ +20 (元 2L)	300 g/a * 少量 散布					2	*
		東北		○2	○	○2	○2	○2									○	○	○		
		北陸																			
		関東 ・東山 ・東海	早																		
			普																		
		近畿 ・中国	早																		
			普																		
		四国	早																		
			普																		
		九州	早																		
			普																		

* 初期割を前処理に少量散布することにより除草効果向上 (東北)

Ⅶ-2 少量散布

	処理 法	地域名	作 期	元 1	一年 広葉 マシイ	オシイ	カカ ツ	ミカ ツ	ハラ ツ	カカ イ	カカ ツ	ヒム ツ	落類 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意		
Ⅶ-2 1.CG-113 粒	土 壌 処 理	北海道		●1	●	●始				●始					植代後~-4	150 ~200 g/a 少量 散布	●	●	●	●	2	*		
		東北		○1	○	○始				○始					植代後~-4 または +0~-+5 (元1L)		○	○	○	○		**		
		北陸		○1	○	○始											○	○	○	○				
		関東 ・東山 ・東海	早	○1	○	○始		●始									○	○	○	○	○	2		
			普	○1	○	○始											○	○	○	○	○	2		
		近畿 ・中国	早	○1	○	○始		○始									○	○	○	○	○	1		
			普	○1	○	○始		○始									○	○	○	○	○	1.5		
		四国	早	○1	○	○始		○始										○	○	○	○	1		
			普	○1	○	○始		○始										○	○	○	○	1.5		
		九州	早	○1	○	○始		○始										植代後~-4	○	○	○	○	1.5	*
			普	●1	●	●始												植代後~-4 却 +0~+5	●	●	●	●	1	**

* 一発処理型除草剤の前処理として植代後~-4に少量散布 (150~200g/a) が可能

** 一発処理型除草剤の前処理として植代後~-4、+0~-+5 (元 1L) に少量散布 (150~200g/a) が可能

	処理法	地域名	作期	元1	一年 広葉 マツイ	オシイ	ウカ ツ	ミカ ツ	ハラ ツ	カカ イ	カカ ツ	ヒム ツ	落類 表層 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意	
Ⅶ-2 2.KH-218 粒	土 壌 処 理	北海道												植代後～-4	150 ~200 g/a * 少量 散布					2	*	
		東北		●1	●												●	●	●			●
		北陸		●1	●	●始											●	●	●			●
		関東 ・東山 ・東海	早																			
			普	●1	●	●始											●	●	●			●
		近畿 ・中国	早																			
			普																			
		四国	早																			
			普																			
		九州	早																			
			普																			

* 一発処理型除草剤の前処理として植代後~-4に少量散布 (150~200g/a) が可能

Ⅳ-2 少量散布 つづき

	処理法	地域名	作期	ベI	一年 広葉 マII	オII	ウII	ミII	ヘII	カII	セII	ヒII	落葉 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壤 土	壤 土	壤 土	壤 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意
Ⅳ-2 3. MO-338 粒	土壌 処理	北海道		●1	●										播代後～4	200 ～300 g/a * 少量 散布	●	●	●	●	2	*
		東北		○1	○												○	○	○	○		
		北陸		○1	○												○	○	○	○		
		関東 ・東山 ・東海	早	○1	○												○	○	○	○		
			普	○1	○												○	○	○	○		
		近畿 ・中国	早																			
			普																			
		四国	早																			
			普																			
		九州	早																			
			普																			

* 一発処理型除草剤の前処理として播代後～4に少量散布（200～300g/a）が可能

	処理法	地域名	作期	ベI	一年 広葉 マII	オII	ウII	ミII	ヘII	カII	セII	ヒII	落葉 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壤 土	壤 土	壤 土	壤 土	減水 深 cm/d	使用上 の注意
Ⅳ-2 4. MTS-1 粒	土壌 処理	北海道		●1	●	●始									播代後～4	150 ～200 g/a * 少量 散布	●	●	●	●	2	*
		東北		○1	○	○始											○	○	○	○		
		北陸		○1	○	○始											○	○	○	○		
		関東 ・東山 ・東海	早	○1	○	○始											○	○	○	○		
			普	○1	○	○始											○	○	○	○		
		近畿 ・中国	早	○1	○	○始												○	○	○	1	
			普	○1	○	○始											○	○	○	○	1.5	
		四国	早	○1	○	○始												○	○	○	1	
			普	○1	○	○始											○	○	○	○	1.5	
		九州	早	○1	○	○始											○	○	○	○		
			普																			

* 一発処理型除草剤の前処理として播代後～4に少量散布（150～200g/a）が可能

水稻関係除草剤使用基準一覧表の表示について

1. 過年度、既に実用化の認められている適用草種・土壌条件に○を印した。
（本年度の試験の結果、特に拡大のない場合も含む。）

草種欄の数字、字句で草種毎の葉齢を示した。〔例：○前（発生前）、○2（2葉期まで）〕

使用上の注意は別途一覧表の番号で記し、一覧表にない注意事項の場合は*を付し、欄外に字句を記載した。

2. 本年度、新たに使用基準が作成された場合は、実用化可能となった適用草種・土壌に●を印し、処理時期・使用量を記載した。
3. 過年度の基準に適用条件拡大が可能となった場合

作 期 の 拡 大：拡大可能となった作期の適用草種・土壌に●を印した。

草 種 の 拡 大：拡大可能となった草種に●を印した。

葉 齢 の 拡 大：拡大可能となった葉齢にアンダーラインを付した。（例：○2.5）

処理時期、使用量の拡大：拡大部分にアンダーラインを付した。（例：+3 ～ ベI2L、50 ～ 75ml/a）

土壌条件の拡大：拡大可能となった土壌に●を印した。

4. 「継」、「継?」、「中止」の場合は判定のみ記載した。

使用上の注意一覧表

- (1) 低気温及び低水温は薬害の危険性があるので使用はさける。
- (2) 処理後2日以内に低温や降雨が予想される場合は使用をさける。
- (3) ごく浅植えの場合、薬害のおそれがあるので注意する。
- (4) 移植後の深水はさける。
- (5) 深水での処理はさける。
- (6) 散布は水稲になるべくかからないようにする。
- (7) 著しい高温条件下のときは、砂壤土ではクロロシスの発生が著しいので注意する。
- (8) トリアジン系除草剤の使用上の注意を守る。
- (9) MCP混合剤の注意事項を守る。
- (10) 処理後の灌水は48~72時間経過後に行なう。
- (11) 処理後2日以内に降雨が予想される場合は使用をさしひかえる。
- (12) 落水もしくは浅水で使用する。
- (13) ミズガヤツリの多い水田では早めに散布する。
- (14) ミズガヤツリに対し遅い処理では、400g/a を処理する。
- (15) ホタルイ、ミズガヤツリ優先圃場では、400g/a で処理する。
- (16) ホタルイ多発田では早めに使用する。
- (17) 泥炭質土壌では、ウリカワに対する効果が低下することがある。
- (18) コナギ多発田では早めに処理する。
- (19) 一年生広葉雑草多発田では400g/a とし、特にヒメミソハギが多発する水田での使用は避ける。
- (20) クログワイ防除はクログワイに有効な前処理剤との組合せで使用する。
- (21) 前処理剤との組合せで使用する。
- (22) 稀釈水量は出来るだけ少く茎葉に付着するように散布する。
- (23) ノリ面散布は避ける。
- (24) 流入、飛散等による水稲への薬害に注意する。
- (25) 周辺の作物に飛散しないように注意する。
- (26) 植付精度不良で根が露出する水田では使用しない。
- (27) ホタルイ多発田では、ホタルイに有効な中・後期剤との組合せで使用する。
- (28) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合がありますので使用はさしひかえる。
- (29) コウキヤガラに有効な中・後期剤との組合せで使用する。
- (30) 水稲が水面に抽出してから使用する。
- (31) 短小苗、深水条件での使用は避ける。
- (32) クログワイ防除はクログワイに有効な後期剤との組合せで使用する。
- (33) 広葉多発田での使用はさける。
- (34) 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用する。
- (35) マツバイ多発田での使用はさける。
- (36) コウキヤガラ防除は、コウキヤガラに有効な剤との組合せで使用する。
- (37) クログワイ防除の場合、同一成分含有薬剤を初期剤として使用しないこと。
- (38) オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組合せで使用する。
- (39) ミズガヤツリ防除は、ミズガヤツリに有効な前処理剤との組合せで使用する。
- (40) シズイ防除は、シズイに有効な剤との組合せで使用する。
- (41) 散布後24時間以内から1日50mm以上の降雨が連続することが予想される場合は使用を差し控える。
- (42) クログワイ防除はクログワイに有効な剤との組合せで使用する。
- (43) エゾノサヤヌカグサ防除はエゾノサヤヌカグサに有効な剤との組合せで使用する。
- (44) クサネムが残草または後発生した場合は有効な後期剤を散布する。

財団法人 日本植物調節剤研究協会
東京都台東区台東1丁目26番6号
電話 東京(03)3832-4188(代)

編集人 日本植物調節剤研究協会 会長 櫛 淵 欽 也
発行人 植 調 編 集 印 刷 事 務 所 広 田 伸 七

平成4年3月発行 定価412円(送料210円)
植調第25巻第12号 (本体400円, 消費税12円)

東京都台東区台東1-26-6 全国農村教育協会
発行所 植 調 編 集 印 刷 事 務 所
電話 東京(03)3833-1821番(代)